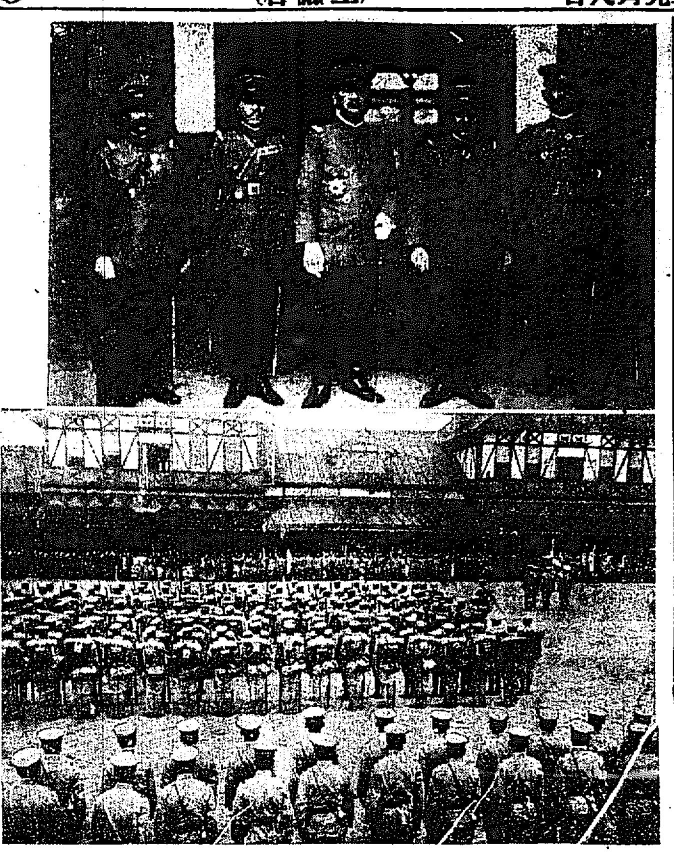
京城日報
夕刊
九月七日(金)
編輯兼發行人 小川三之介 印刷人 島良輔
發行所 京城府太平通一丁目 京城日報社

朝鮮總督府法定消毒藥
アイゼル
○消毒○殺虫○防臭○

司令部還る



(上)龍山驛前の記念撮影(左より松田參謀長、仙波旅團長、金谷軍司令官、吉田二十師團參謀長、向野野砲隊長)
(下)驛前に整列した部隊
(左)仙波混成旅團長

旅團司令部も 今朝目出度歸還
騎兵野砲兩中隊を殿りとして

七日午前六時廿五分龍山驛着臨時列車で滿洲派遣混成第四十旅團司令部仙波少將外首腦部並に騎兵、工兵の一部隊は無事歸還した。この日前日の如く未明にもめげず驛頭には金谷軍司令官をはじめ各師團長、參謀長、[illegible]、淺利警務局長、李[illegible]の[illegible]局長、松村土地改良部長、田中[illegible]、[illegible]部長、馬野府尹、並に愛國婦人會員等官民有志の熱誠な出迎へおよび龍山部隊には工兵隊、騎兵隊の[illegible]、在郷軍人、青年團、[illegible]學校生徒等と無慮三千有餘名の[illegible]をあげての出迎へあり。列車驛着と同時に仙波旅團長はまづ金谷軍司令官に歸還の報告をなし、出迎への人々に謝禮の意を表し[illegible]部下を[illegible]驛前に整列し[illegible]の如く金谷軍司令官に挨拶を[illegible]旅團旗を捧げたが仙波少將以下[illegible]は自動車で軍司令部に向つた

仙波少將語る

仙波少將は驛出迎への記者に左の如く語る

私は高山第七十九聯隊長と同じ八月の[illegible]で朝鮮へ[illegible]先月の二十三日に安田旅團長と交代任に就いたもので、從つて在滿の日淺く別にお話する事もないが、今回の四十旅團の守備は長春旅順間全區域に亙りかなり廣汎な範圍で、例の張作霖氏の列車爆破當時は[illegible]緊張して居た樣であるが、鐵嶺に移つてからは全く胸を撫して機會待ちに終つてしまつた、併し該方面の支那人民は秩序整然たる日本の軍規にいたく感激して居た樣で、此の點丈でも今回の出動は大成功と申上げ度い、錦州方面に排日熱盛んの如く傳へられて居るが斯かる事は絶對にないと確信する

混成旅團全部還る

旅團全部歸還 ―明日閲兵式

騎兵中隊および野砲一中隊は殿りとして七日午前九時十五分龍山着臨時列車で歸還した、これで仙波混成旅團は全部歸還したわけである、なほ八日午前十時から龍山練兵場で金谷軍司令官臨場の下に上記歸還部隊長以下のため仙波少將が諸部隊の閲兵式を行ふはず

寺内參謀長 大連から撫順に

【大連特電】東三省に出張中の關東軍の視察を終へた寺内參謀長は作戰參謀同伴六日夜[illegible]、七日撫順その他の視察をなし居り、八日は旅順訪問の上歸途につくはず

天羽書記官 濟南に赴く

【北京六日發電】濟南事件解決の交渉をおび北京公使館天羽一等書記官は來たる十一日北京出發濟南に赴くことに決定した

上海臨時法院で 又復臨時辨法の適用
執拗極まる王正廷氏 …いやがらせも程がある

【上海六日發電】上海臨時法院において臨時辨法適用が問題視されることは既報の通りであるが、今度また同樣の事件が起つた、即ち臨時法院において主として訴訟事務に從事して居る有上辯護士に對し臨時法院より「南今日本人關係の民事訴訟事件の審議を保留する、また審査濟のものにはその判決の執行を保留する」と通告をもつて通告して來た、これに對し有上辯護士は直に訴訟を受理しながら審理せなかつたり判決の執行を中止したりするやうでは法院存在の理由がなくなるではないかと抗議したが、臨時法院長及び交渉員は「何れ政府より何分の命令が來れば回答する」と答へたのみであつた、今回のことは日本をいやがらせんとする王正廷氏の命令であり、判決の執行を無期延期する如き許し難き暴擧である

政府は強硬
條約問題緩和せざる間 差等税率には反對する

【東京電報】南京政府が自ら關税問題[illegible]の過渡的便法として差等税率を實施することに決定したことは既報の如くであるが、その後南京政府においても芳澤公使からの報告に基つき對策を講究中のところ大體において強硬論が有力である從つて帝國政府としては諸同條約問題の緩和を見ない限り差等税率問題についても大體消極的方針に出る模樣である、當局は昨今における日支間の一般的に鑑み當分關係の正常化は困難と斷定し差等税率問題に關する日支關係の正常化などはいささかも意に介する模樣はない

その實施には 悲觀論も見える

【東京電報】七種差等税率問題に關し列國が一種の關税協定を締結することは日本の反對により不可能とされてゐるが、これが實施如何について次ぎの二項の意見が行はれてゐる

一、日本が現行五分以上の納税に反對せるにかゝはらず列國が最高二割七分五厘に至る高率の納税を承認すべくもなく、結局は日本の賛成を見るまで實施されぬであらう

二、先般二分五厘附加税實施にあたり最後まで反對した日本も遂に抗議附の名目にて納入の已むなきに至つた實例から推して、今次の過渡税また英米始め列國の同意を得る以上は支那側は日本の意嚮を顧慮せずして實行に着手し、日本が納税を肯ぜざれば荷揚げを拒否するの手段に出でこれが實施は斷じて免れ得ざるところである」

以上の如くでほぼ後者の可能性大なりと見られ、日本がこのまゝ放置せば二分五厘附加税徴收の二の舞を演ずるに至るべしとの見解が有力となつて來た

國民政府の肚

【北京六日發電】國民政府が突如差等税率問題を持出したはらは斷定税率實施が日本の反對によつて實現の可能性なく、一方日支條約問題も殆ど解決を豫測し得ざる状態にあるためまづ關税會議において[illegible]

張宗昌氏 後退す 革命軍追撃

【北京六日發聯合】李品仙軍は三[illegible]灤河の線を放棄せるも、唐山、開平を固持すべく死戰は免れぬ状勢である

[illegible]て列國が承認せる差等税率を早急に實施して關税自主の前提たらしめんとしたもので、本税の實施は相當長期にわたり正式上の國定税率の前提をなすに至るべしとみられてゐる、しかして日本を除く列國の意向は大體同意に決しゐるが關税自主協定の調印を遲延せる列國の回答を督促し本月内に北京外交團の形式的承認の運びに至り日本はそれまでに正式意思表示の必要をみるべしといはれてゐる

唐山、開平で 決戰するか 張宗昌氏の意圖

【北京六日發電】白崇禧氏は張學良氏に對して張宗昌、褚玉璞兩氏が關内に[illegible]せざれば一齊に總攻擊をなすべきによりその旨を宗昌、褚玉璞兩氏に傳へられたしと申し送つた、張宗昌氏は[illegible]

北戴河の英人 避難準備

【北京六日發電】張宗昌軍の後退を追擊した革命軍は益々前進し[illegible]氏の第二旅軍は本日[illegible]を[illegible]灤河の線を占領した、英國公使は戰禍が[illegible]に迫るべしと見て北戴河の英國僑民に避難準備を命じた日から[illegible]の前線に向つて攻撃を開始した旨李品仙氏から公電があつた。

旱水害地に對する 免減税はどうなる
税務課で調査中
晩くも十二月迄には決定せん

旱水害地に對する免税は目下本府税務課で調査中であるが、地税は第一期十二月、第二期二月の二期に分納することになつてゐるので第一期の十二月までには完全に調査完了を要することになつてゐるこれがため九月二十日頃までに各道から免税地の申請をなさしめ十月中旬には決定を終る模樣である、が、旱害者にあつては一筆毎に植付不能又は枯死により三分作以下となつたからとて直にそれに免税、又は減税による減税をするものでなく、行政的に旱害を受けた地方に限り減税を行ふ規程になつてゐるから郡税課で調査してゐる植付不能、地三分作以上の所、又は免税の必要ある收穫減少地と認め減税される土地とは大分開きを生ずるはずである、水害地は流失した地にあつては一筆毎に、その他の土地は數區的に減免を行ふので旱害の場合より減免の程度が非常である、目下の所免税地が如何なる程度になるか調査中に屬し明かでないが、旱害地にあつては免税地五六萬町步、減税地十五六萬町歩で、減税額約三十萬圓、水害地一萬町歩で四萬圓、合計三十四五萬圓程度ではないかと見られてゐる、なほ地税に附隨される各地方税も當然地税に準じて減免されることになつてゐる

神宮參拜

(六日)總數一四一九八人▲内譯内地人一二九一八人▲朝鮮人一一七八人▲支那人一一人▲團體京城修養團八〇八人▲歩兵第七十九聯隊七〇〇人▲岡山縣女子師範學校一一〇八人▲奉天第二小學校八五人▲前年度總數五九三人

人

◇兩殿下 李鍝公及び故李埈公妃殿下 七日午前九時三十分京城發仁川へ赴かれ午後八時三十分御歸着の筈
◇堀内海軍中將 六日夜入城朝鮮挨拶のため本社來訪
◇池田水產課長 八日朝京城發滿洲行の筈所病氣のため出發を延期
◇メヤー氏(奉天駐在米國領事) 夫妻昨夜奉天より入城七日午前八時退城金剛山へ
◇小川延吉氏(鴨江日報主幹)同朝入城朝鮮ホテル
◇松下芳三郎氏(全南警察部長)向上
◇矢鍋良隆氏(大邱日報副社長)同朝入城更に釜山へ
◇足立秋生氏(新義州電氣重役)同上朝鮮旅館
◇藤田四郎氏(貴族院議員)七日午後七時四十分入城天晴鏡へ投宿九日午前十時五十分發北行の豫定
◇盛毛基建氏(拓殖局長)同上

無私めがね

何年立ちても事情に激變なき限り、反對は反對だ。支那關税令ならぬだらう。は日本の反對から、また物に

しかし支那は依然强硬を行ひ、前回附加税問題の戰法を再び用ふるとせば、日本の對策如何。

强硬一徹するに非れば[illegible]だ[illegible]兵々乎として殆い哉だ。

本府にも西洋行きが多くなつた、歐つて西洋風を吹かせぬのも多くなつた。

總監が死んだ、總監も死んだ、總監でも死んだ。

妖鬼流血錄 【11】

長谷川伸 作
木村哲二
伊藤幾久造 畫

惡鬼江戸へ下る (七)

風の後のなぎといつたやうな一種氣味の惡い靜寂さが低く垂れこめてゐる庄右衛門の座敷へ、兵部志津馬はヌッとはいつて來た。

庄右衛門の方では、惡の競爭に勝つたといふ誇りはあるものの、同時に、僅は志津馬のために仇だといふ意識は充分に持つてゐる。だから、志津馬の顔を見ると少からずテレた形だ。が、面白いことに、志津馬ほどの、惡惡性を一面に持つてゐる男でも、胸の間にも忘れぬ怨仇を前にすると、口惜しいより、殘念より、何より先に恥かしさの念が湧いてくるのだ。だから、双方がテレた形で

色が籠まれた。今夜の事件が惡志津馬が知つてゐるらしいのが先づ合點がいかない。ことに、町の町人を時にとつての獲物として取押へて置いたことまで知つてゐるといふことは、怪々不思議だ。それを面先きに問ひ詰したいのだが、些か氣の利かない問ひだから口ごもる。

と、御家老の座敷へ怪しき者が押しかけて參つて、何やら騒ぎ合、ことと次第によつては双方抜きかねまい、といふ注進が若侍の口から口へ傳はつた。それッといふと、元來が張あれかしの血氣の多い連中だから、押ッ取り刀で門際まで押しかけて來たのが

互ひに一言も發せず押默つてゐるその背、机を並べて學んだ同志が七八年振で會つた場所とは、誰が見たつて頷かれるものではない。

『久しぶりだな……』

庄右衛門が、家老らしい分別の備はつた顔へ、處女のやうな羞恥をのぞかせて、漸く口をきつた。

『うん……』

たつた一言。志津馬の言葉はこれ限りで、また無氣味な沈默だ。たまり兼ねて、庄右衛門、

『何しに來た……』

とやや開き直つた口調で庄乃直入にやつてのける。これがキッカケとなつて、志津馬側に口のすべりが良くなつて、

『罪科のない町人を救ひに來たんだ。惡事を働いた罪人を捕へそこねたのは貴公始め家來の手落ちだ。それを不具者になすりつけて、天晴功名顔をせうとは近頃面白からぬ不具の町人を拙者に返せ。それ受取りに參つたのだ……』

庄右衛門の面には明かに狼狽の色が浮べられるか

いつか室の中へ溢れ込んでくる。が、志津馬、懸仇には顔を妨げもすれ、對侍の方なら、刀の柄をつくられても眉ひとつ動かすものではない。かへつて度胸が据はつてくるのだ。

『どうするのだ、拙者を切らうといふのか……』

嘲けりを含んだ笑ひを、志津馬は激侍たちに浴びせかけた。

あすの天氣 (8)

高氣壓は本邦東方海上から朝鮮に擴がつてゐるが半島の氣壓配置は緩漫の爲め全鮮曇つてゐるが氣溫は昨朝より一二度高い半島附近の氣壓配置は急に變化の模樣がない明日は晴曇不定である

豫報 曇一時晴

氣溫	七日正午	[illegible]
六日	最高	[illegible]

仁川滿潮時 (九月八日)
午前零時零分
午後零時十五分

大阪優良品商店

冬物洋服品揃
商店ニ限リ生地見本 相場表送呈
大阪市谷町一 石尾仁本店

店判捺印シテ申込スル方ニ限リ型録及相場表送呈ス
エプロン 兒童服 男女學生服 運動服裝
トライヌ印裁縫品發賣元
專門製造卸問屋
廣島二雄商店
大阪市東區瓦町四丁目 電話長船四六八三番

ショール・首卷卸
蝶印洋傘問屋
大阪市東區北久太郎町四丁目心齋橋筋
横田商店

墨筆問屋 古梅園大阪支店
大阪市東區南久寶寺町四丁目心齋橋筋角
店章申込型錄送呈
電話船場四六五番 振替大阪三六〇九番

乘馬ズボン 長半ズボン
製造卸問屋
(商報毎月發行)
若原重平本店
大阪東區内本町二丁目
電話東四四〇八番 振替大阪一〇七五四番

高級トンビ
洋服オーバ
見本時期贈進呈
羅紗製品卸商 福田辰商店
大阪市谷町二丁目 電話東一〇九三番 振替大阪五八二四九番

◎冬靴豐富荷揃◎
季節品テニス靴ト冬向ゴム豆靴
店章申込型錄送呈
イーグル靴 アイジ靴
高級各種靴專門卸
製造本舗 山下芳松商店
大阪市東區南久太郎町四丁目心齋橋筋

小倉服地
冬物向見本發行
店章捺印シテ申込スル方ニ限リ見本送呈
大阪市東區谷町二丁目 (電話東一八六五番)
木下佐商店

小倉 コール天 洋服 各種 ズボン類
原料見本商報送呈
製造卸問屋 若原武商店
大阪市東區石町一丁目

(實用向優良品問屋)
毛糸 綿製 軍手袋 沓下
タオル、メリヤス類製造卸
相場表進呈
振替大阪二三六九七番
大阪市東區内本町一丁目
吉川彌三郎商店

帽子
秋冬向帽子各種品揃
寫眞入美麗型錄送呈
大阪市東區内平野町二丁目
內外帽子卸問屋 合名會社 阿部清商店
電話東 [illegible]

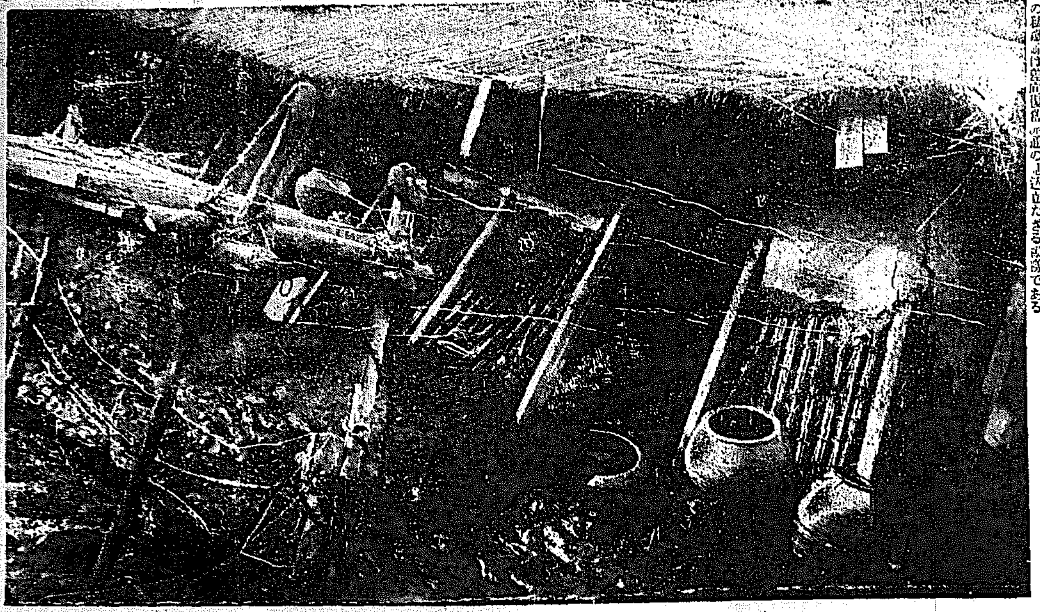
本案内廣告特別一手取扱
電話土佐堀三三六〇番
大阪相互通信社

被害は震災を思はせ 急を告げる罹災民の救濟
中野知事に義捐金を贈る
咸興にて　高特派員發

今回の咸南大水災は各地共夜中の出來事であつただけに罹災者全部が住むに家な、着るに衣なく飢を凌ぐに足るべきものは牛も豚犬も食ひつくして今は草の根木の皮をあさり、悲惨極まる飢餓の苦を味はいつゝある、交通不便の地而も復舊容易ならぬ遠隔の地とて郡廳警察等から寄贈した食糧は二日三日を經過し、尚現場に屆かず民心は漸次不安に陥り興奮と化しこれが救濟は寸刻を争つてゐる・予（高特派員）は七日松坂咸興支局長同伴咸南道廳に中野知事を訪ひ、豫て募集中の義捐金の中第一回分五百圓を贈つた、中野知事は「道廳にも現金の少い折柄誠に助かります」と謝意しながら「各地の状況も今明日中には確實に判明するはずであるが、被害程度は關東大震災に彷彿救濟を要するもの一萬七八千戸に及ぶ見込である、山地帶は平素でさへ隔離困難な火田部落を含むので時日の經過に伴ひ悲惨な新事實が現はれることゝ思ふがこの方面は幸にして大豚の牧畜を盛つて近く現金が手に入る上に馬鈴薯の收穫期に入つてゐるから平地帶に比較すれば食糧の心配は少いと思ふ、新興郡下通川面の慘状も筆に盡くせぬが洪原郡希賢・好賢兩面は殊にひどく一千七百戸が殆んど全部谷底に埋沒したらしい、然し一般に罹災者に同情し、洪原邑の有力な篤志家の如き率先、好賢兩面民は絶對に飢へさせぬと、罹災直後から自發的に食糧輸送を開始した美談もある、道としては七日中に交通復舊の見込をねり八日からゲンキンコウ北青から咸次まで國道方面の物資輸送を可能ならしめるはずである」と語り救濟各方面の同情を期し好轉の現れぬことを喜んでゐる

郵便物の鐵道連絡は けふから稍順調
一部のみの徒歩連絡で 淸津まで開通する

再度の出水にて不通となつた咸興、淸津間の鐵道線路は七日中に大體の工事を終了する見込みであるが、七日朝京城發の列車（午後七時水電間運轉）から一部の徒歩連絡にて淸津まで開通するはずであり、從つて郵便物も鐵道便にて連絡することゝなる又淸津會寧間も七日から一部の徒歩連絡にて列車開通したので人夫による郵便連絡を廢止して鐵道によることゝなつたが、咸興、上新興間の私設線は當分復舊の見込み立たざる模様である


水害畫報【咸興の慘狀】高特派員發

龍峴方面は 尚增水
西水羅署管内の被害

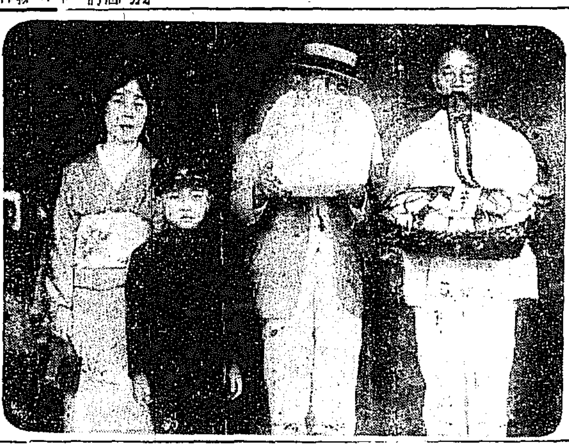
（咸北雄基電話六日午後九時三十分警務局着）天候は漸く快復し雄基を除いた各河川は漸次減水し圖們線路線の浸水六尺となつたが、西水羅署管、龍峴附近は今なほ增水で龍峴駐在所は構内四尺五六寸浸水、稲峴派出所床上二尺四寸龍峴駐在所一尺余浸水ありて郊外との連絡は船によつてゐる五日正午調査により判明せる被害左の通りである
家屋の流失五一▲倒潰二四▲半潰一七九▲浸水錦城六七五▲鶴下十〇一▲溺死者男一十一▲女七▲壓死者男女各二▲負傷者男八女三▲行衛不明男十一女四▲避難戸數五六八▲數の延人員二二四六▲其の他農作物被害面積約一萬七千町歩の中の損害見積約百六十萬圓、道路橋梁同百萬圓の見込み

咸北三郡の 被害判明す
水道は破損して 制限給水を斷行

（羅南電話六日午後七時四十分警務局着）去る二十八日より本月四日までの豪雨による水害は鏡城、富寧、淸津の各府郡殊に激しく九月五日正午までに判明せるもの左の如し
▲死者二十八、既死四、負傷一〇行衛不明十五▲流失四九戸、倒潰二十二戸、半潰一七七戸、浸水千三百六十七戸、破損戸數五六七戸、豚死二〇▲鐵道は古茂山蒼坪間及び私鐵を除き開通▲京圖鐵道等の流失、決潰し橋梁は輸城、會寧間は約八ケ所羅南、淸津間は全部流失、殊に淸津は電柱倒潰し三十一日、一日の二日停電し市内暗黒となつたが應急修理し二日より送電同夜より輸城川側の水源池は田畑の川と化し川の中央となり水管破損断水し警察は消防組、軍隊と協力し市内各井戸三五ケを竣工し一方渓谷の水を水道課に引入れ蒸溜し使用せしめ一日一人三升と制限給水しつゝあるも浸水せざれば復舊の見込立たず▲避難民は現在救助を要するものなし、鐵道は江東監視所、城川監視所流失

四台子に 馬賊襲來
宮本大尉麾下が擊破

【安東電話】五日夜四台子面に侵入十名の馬賊が襲來したとの急報に接し宮本大尉麾下印分隊が出動擊破した[illegible]



富永氏の遺骨歸る
去る廿四日平北新義州で平北警察部長の現職の儘逝去した故富永一二氏の遺骨は七日午前九時五十分京城着列車で令兒未亡人に護られて到着したが驛頭に池上政務總監、金谷司令官をはじめとし淺利警務、李學務、各局長、佐光秘書官、各部長、課長、府尹、遺族等三百余名の出迎へをうけ淸水驛長先導の下に遺骨は貴賓室に少時おさめられ、こゝで池上總監および前記人々の參拜あり、未亡人の面にあらはれるさびしさは新しく出迎への人々の涙をさそう、かくて豫定を急に變更して遺骨並に未亡人は天山機に入る、なほ未亡人はこの日一日總督、總監並に各關係者への謝禮回りをすませた後午後九時京城發列車で郷里長崎へ向ふはず（寫眞は驛頭にかける未亡人及び令兒に護られたる遺骨）

北海搜査は 中止する
諾威のア翁 搜査隊

【オスロー六日發】ノールウエー政府はノビレ少將一行搜査に赴き行方不明となつたキャプテンアムンゼン氏一行のため北極海岸を搜査中であつたが、今回これを中止することに決定した、然しノールウエー沿岸の搜査は引續き行ふはずである

内地人專門に 空巣を狙ふ
本町署の兩刑事が 犯人三名を檢擧

近來永樂町黄金町を中心として府内各所に頻々たる盜難あり、おもに空巣を狙ひ現金、貯金帳、衣類等を掻つさらふ内地人住宅専門の賊であるが、本町署では同一犯人の手口と見込みをつけ犯人搜査に努めてゐたが六日夜に至り、池本、李兩刑事の手により住所不定某外二名を檢擧した、同人等の自白によれば一昨年七月頃から窃盜を働き内地人住宅三十余軒を荒しまわり被害價格數千圓にのぼる、その贓品は手入れより、その他は質入れ等により消費したもので目下取調中である、手腕の兩刑事は大窃盜團を檢擧したといふので署長より賞讃された

家畜の大市
兎跳りの餘興もあり 廿二日盛大に行ふ

京城府家畜市場の大市は九月廿二日盛大に行ふ事になり賞牛に對して一等百圓（二本）二等廿圓（二本）三等十圓（四本）四等五圓（八本）五等一圓を授與し、又餘興として朝鮮兎跳りなどを行つて東大門外の市場一帶はお祭り騒ぎとなるはず

實業聯盟の 秋のリーグ戰
府廳對京電戰を劈頭に 十五日から開戰

京城實業野球聯盟秋季リーグ戰は左の如く決定、來る十五日から京城球場で擧行する事になつたが、今秋より近來めきく實力を加へた京城府廳野球部も新に聯盟に加入を許されることになつたのでその盛況は想像される。
十五日（後四、〇〇）府廳對京電
十六日（後二、〇〇）鐵道對殖銀
十九日（後四、〇〇）遞信對殖銀
廿二日（後四、三〇）府廳對殖銀
廿三日（後二、〇〇）鐵道對遞信
廿六日（後四、三〇）鐵道對京電
廿九日（後四、〇〇）遞信對府廳
三十日（後三、〇〇）殖銀對京電
十月三日（後四、三〇）京電對遞信
六日（後四、〇〇）殖銀對鐵道

府廳も出場
京城府廳野球部は近來陣容などを整へたが、六日付朝鮮野球聯盟より加入の承認を受け今秋聯盟戰より出場する事となつた

金庫を 盜すむ
家出した少年の仕わざ
七日午前二時京城府[illegible]

京日運動號 全鮮野球爭霸戰記念號 出來
京日主催の野球の覇者として去月廿六日から九月一日まで、花々しくかゞやかしく覇權爭に展開した第五回全鮮野球爭霸戰に關する記事は、經過も批評もゴシツプも寫眞も一切網羅した（ばかりでなく）各地方豫選も詳細に掲載しました（ばかりか）半島球界を一目の下に知悉することも出來るといふものです。御愛讀をおねがひします。
【定價一部廿五錢、發寄書店、本紙販賣店にあります】

訪日獨逸機 引返す
【モスクワ六日發】ベルリンより極東へ長距離飛行の途中發動機に故障あるのみなれば途中に着陸したドイツ機リスティクツ、チンメルマン兩氏は六日飛行機でベルリンに引返すべく出發した

大暴風雨が 臺灣を襲ふ
各河川は氾濫し 農作物の被害多し

【臺北電報】稀有の低氣壓が五日夕刻臺灣に上陸し、本島を縱斷して六日午後二時澎湖附近から臺灣海峽に去つたため、島内の電信電話は殆ど不通となり六日午前五時二十三分臺北附近で鐵道が不通となり、基隆では基隆川增水一丈八尺に達し、濁流に相當の被害を見た、臺中州からの報告によれば甘蔗、バナナ等の農産物の根こそぎに倒れたもの多く、その他甘蔗畑も大分潰されてゐる、臺北州では住宅破壞百十戸、水田浸水五百町歩畑の浸水七百町歩に達した

佐藤氏逝く
同民會副會長

同民會副會長佐藤虎次郎氏は豫て胃癌にて城大附屬醫院に入院加療中の處經過思はしからず六日午後十時逝去した、享年六十五歲、遺骸は遺言により十日午後二時西本願寺において葬儀を執行するはず（寫眞は佐藤氏）

氏は和歌山縣平民、明治六年六月十五日埼玉縣兒玉郡に生る、明治十四年一月横濱に出で生絲貿易業に從事、十七年八月大志を抱いて渡米ミシガン州立大學に學び法學士となり二十六年六月オーストリア木曜島に航して眞珠、眞珠貝の採取事業をはじめ、次いで朝鮮に移つて事業を經營、大正元年十月議員に選出され、朝鮮搜林株式會社を組織して專務取締役となる、八年私財を投じ私立芝山學校を建設し校長となる十年八月京城都市研究會を起して常任幹事となる、十二年八月同志と共に同民會を起し常任幹事となり次いで副會長となりて今日に至る、論客として民衆の指導に努め京城の長・民會主催夏期講習會の最中卒倒して今回の死因をなす享年六十五歲、非常に惜まる

外濠に緋鯉 を放魚
澁澤翁が御大典記念に

【東京電話】澁澤子は御大典奉祝のため宮城外濠に緋鯉二萬五千匹を放ち養魚場とすべく宮内省の許可を受け九月中旬放魚することゝなつた

送別武道大會
京城では九日警察部長の榮轉を送るため武道家を集め武道殿において送別武道大會を開催するはずである

率先して 一千圓寄附
去る三日京城府公會堂において[illegible]一千圓を寄附した、一般からもこの種の美擧に對する感謝の念厚く、その實現を期待して居る

義捐金（七日正午締切分）
▲五十圓 南大門通 三國商會王士井誠一
▲三十二圓 京仁石鹸同業組合
▲二十圓宛 南大門通 道園、元町 中谷稔藏、山口千一郎（四人合同）
▲十圓宛 西小門通松浦齋生商店、朝鮮民衆社 佐藤秀男、南大門町二丁目新井俊子、黄金町三丁目本田健義、仁川數馬邀祭館ノ國府內救濟會、朝鮮鐵道株式會社新田留次郎
▲五圓 水標町淵田幸信吉、朝鮮鐵道株式會社松永工▲二圓宛 朝鮮鐵道株式會社松田松太郎、朝鮮鐵道株式會社保々寶、同野田寶寅、同佐藤正
▲一圓宛 湛良裕太郎、永井榮治
▲八十錢宛 鈴木一太郎、中西圓
▲七十錢宛 淸島松三、佐藤寧治
▲六十錢宛 田中香造、朝鮮鐵道株式會社佐々木喜助
▲五十三錢宛 朝鮮鐵道株式會社松浦孫遼
▲五十錢宛 朝鮮鐵道株式會社毛利元良、齋藤正輔、佐藤久次郎、宮本光一、大藪天、飯田雄、當元、吉村滿介、松原規、前田夫、渡邊良、島津勝信、金永國
▲四十錢宛 朝鮮鐵道株式會社渡邊富作、松本正志、松尾武夫、都澤澄、井清衛
▲三十五錢宛 朝鮮鐵道株式會社有馬兵越雄、山上政雄、油仁之助
▲三十錢宛 朝鮮鐵道株式會社尾子八朗、中島鑑晃、上御村夫、久永鐵雄、宮崎末松、小林幸雄、山下友之助、八木幸一、岩山薬、塚井小十郎、宍戸時夫、田淺吉、杜田、武田金藏、金李煥、林和作、杉本清
▲二十五錢宛 朝鮮鐵道株式會社水上忠博、八木次男、上野興五郎、鶴山政平、山崎正治
▲二十錢宛 朝鮮鐵道株式會社吉野昌司、今井剛介
▲十錢宛 朝鮮鐵道株式會社[illegible]

辯護士開業
不肖儀今般京城法學專門學校教授を辭し辯護士開業致候に就ては誠實熱心懇切叮嚀に一般法律事務を處理可致候間此段謹告仕候
京城府明治町二丁目百五番地（支那領事館前）
辯護士 法學士 丸山敬次郎
電話本局一八四四番

モーニング セビロ 冬服豫約 二十日〆切 丁子屋

債權請求申出方公告 京城府北米倉町一四二[illegible]昭和三年八月廿七日[illegible]京城府旭町一丁目一九五番地 限定承認者 丹原き志

頭痛にノーシン

有利な仕事 家庭の副業として最も立派に生計が立つ[illegible] 白山商會

九月八日 午後八時ヨリ
高橋正雄師講演會
京城日報社來青閣ニ於テ
金光教京城教會所內
主催 振氣同志會

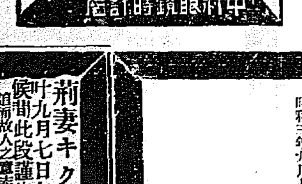
朝鮮産物にて不思議に能く効く
天藥泉
天藥泉は一種不可思議な神秘的藥理作用に因り補血強壯劑として又疾病根治に特殊の効果がありますので家庭常備藥に御奬め致します
主治効用概略（一劑にして内服外用と併用出來る且浴用もあります）
慢性貧血。慢性胃腸加答兒。消化不良。食慾缺乏。腎臟病。神經衰弱症。病後衰弱。痛經。一食傷。胃痛。急性胃腸加答兒。急性下痢。便秘。脚氣症。腹痛。頭痛。溜飲。中風。神經痛。一腰痛。痔疾。切創。打撲傷及挫傷。凍傷。火傷。毒蟲刺傷。皮膚病一切。慢性泌尿器病。生殖器病等
定價表 （内服外用）二百五十瓦入 金九十錢 五百瓦入 金一圓五十錢 （浴用）ビール瓶入 金六十錢 二升入 金一圓五十錢
◎各地著名藥品店にて販賣致して居ります
製造元 京城南山町二ノ四六 昭和商會 電話本局三六八四番 振替京城二九一一番
代理店 京城 新井藥房 同 山岸天佑堂 同 木村藥房 同 第一藥品株式會社 龍山 巴藥房 仁川 北島藥房 平壤 森田藥房 元山 池田藥房

京城 龍山間 一円均一タクシー
京城驛前 平和自動車部 電話本局一八二五番

四男忠夫儀病氣靜養中の處今朝八時五分死去致候間此段御通知申上候
追而葬儀は明八日午後二時より三時まで自宅に於て神式に依り告別式を執行可仕候
昭和三年九月七日
父 柳瀨歲松
兒 年夫
親族總代 寺尾猛三郎 鳥越敏夫
友人總代 兒玉琢 小寺忠行 内田規一

荊妻キクヱ儀豫而病氣ノ處養生不相叶九月七日午前七時十三分遂ニ死去致シ候間此段謹告仕候
追而故人之意志ニ依リ途中行列ヲ廢シ九月八日午後二時大和町西本願寺ニ於テ佛式ヲ以テ葬儀相營ミ可申候
京城府水標町三七 夫 生田紋藏

プロセス印刷（特許） 意匠登録濟
御大典奉祝 萬歳旗 奉祝提灯
特約販賣店募集
大阪赤池商會鮮滿總代理店
發賣元 京城府淡江通十三番地 三好忠商店 電話（龍）五六三番

時計ト

京城本町一丁目 電話本局一〇番 中村眼鏡時計店

◎產婆生徒募集 福岡市[illegible] 福岡產婆學校

給料はついたが調子がみだれる

—見習時代の彼の話—(六)

一記者

撮影所の撮影部は随分閑散ならしい その頃Cの撮影部は此にいつた樣にM氏であつた、市川百々之助で相當人氣のあつたCだからさして苦しいとは思はれなかつた、然しその實はこれと反對で非常にあはなかつたらしい、遂にM氏は突然手をひいた、館は三日間の休業を宣した、その間支配人F氏は後備者をさがすべく各方面に奔走したその結果選んでひきうけやうといつた人があつた、T氏である、そこで內容を一新する必要ありとし新にフオツク社と提携して洋畫に意をそゝぐ事になつた此時F氏は僕に『中學校四年を修了してゐるから』との理由で手當てとして非常を月々に給與するといふ、そして僕に洋畫物を專門にやれとの事だ、僕は非常に嬉しかつた、この騷ぎにKからCに轉じた洋畫專門のM氏は僕の說明をきいて『W氏の將來だ、君は將來うまくなると盛んにほめてくれる、[illegible]の折は入れ込みの

現代劇 の前半分を說明した段々調子がよくなつて行く[illegible]以外な感投の文句を飾つて見るまでになつた所がどうしたものか急に腹にジヤリが入りだした、キイキイと高い聲ばかりで調るきゝにくく、殊に脫線した後つばがすつぱくなり出したのを僕は感じた不思議でならなかつた、調子がつけばそれからは漸次さびて行くはずだのにそれどころか數ケ月の間、日夜の練習で作りあげた調子が今は亂れ樣としてゐる、僕にはその原因がわからなかつた、丁度マツチベラミーの『百萬圓あれば』が來た折だ、練習にたつてやりだすと聽衆の一人が盛んに手を叩き出した、『もうやめろ』といふ聲だ、F支配人は早速M氏と代へた、調子がどうしてこう無茶苦茶になつたのか、又々前途が不安になりだしたその日丁度叔父がCに來てゐたので歸宅後尋ねてみると『なつてないぜ』との事だ、一體これはどうしたのだらう、調子一つが生命である、その生命たる調子がこんな風にくちては悲慘である、ある一日の、殊の外暑くなつた

調子を きいてM氏がこういつた

『調子に一頓挫になるのは×××だ、一度でも×××を×××すれば無茶苦茶になる、しかもまだかたまらない折に一寸でもしくじるとそれを取戻すのに二ケ月は充分かゝる、僕もその經驗はある、が先生に注意されて以來嚴禁を嚴守つた……』僕はこの言葉をきいて今更に僕の愚かさを感じた、否恥かしさを感じた。何故はやくそれを知らなかつたのだらうか愧かしい所ですでに過ぎさつた事である、それ以後僕はあらゆる方面にせつせいした、殊に×××に對しては絶對にとまで誓つた、七月に入つた映畫も暑からが說明する僕等はたまらない、汗が着物にしみ出るといつて片ぬぎは警察から

嚴禁され てゐる、ある日先生K氏はどこからか火鉢と扇を持つて來た、例の季節に向つて『自分が說明してゐる間後からあほぐのだ』……僕はこれをきいてあまりだと思つた、仕方なしにK先生の時代劇中はその後にまはつて李君は一生懸命あほいだ或る日李君がいふ『ねえ、Y君、僕とてもきついのだお互に一寸づつあふぐ事にしようよ』『いやだ』とたかつたのだが李君があまり痛ましい僕は承知した、翌日から僕は扇を持つて先生の後にたたねばならぬ

文藝物に喜劇物に大作多き歐洲映畫

獨逸物を筆頭に秋の映畫界賑ふ

今秋外國映畫が俄に殖ゆ猶しく賑ひに立つのは歐洲物、殊に主として

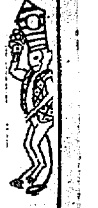
獨逸映畫 の多いことでざつと見渡したゞけでウフア社の大作『メトロポリス』或は『スピオーネ』『愛と大自然』などを初め ワーナー社が配給するらしいフオロクス社のドイツ作品、音樂の映畫化といはれる『ベルリン交響曲』の如き新傾向の作品や、ファースト、ナショナル社の『三つの愛』その他スターフイルム社が配給するドイツフエーブス映畫等もある 今秋の輸入は內容で特にニユルンベルグの親方はワグナーの歌劇『ハンスザツク』で有名な物語り『ワルツの夢』を監督したルドウイツヒ、バルゲル氏の作品ルドルフ、リツツナー氏マリアゾルフユク嬢の主演。同特作『愛』はバルザツクの

戀愛小說 よりポール・クインナー氏が脚色監督せるもので氏は『ニユー』や『跳始』の監督者として有名である。俳優は『ニユー』出演のエリザベート・ベルグナー嬢や『プラーグの大學生』でお馴染のアグネス、ステイルハツイ[illegible]が出演してゐる。『喉まき』(獨名ホーゼ)は獄地小劇場等で度上演されたカール、シュテルンハイムの名戲曲でハンス、ベレート氏が監督した。ウエルナー、クラウスやイエニーユーゴー嬢などおなじみ揃ひ『シヤルロット、少し氣が狂つた』はドイツ喜劇界の

名脚色家 ロベルト、リーブマン氏の手になり、エー、アーヴツクツピヨー氏の監督リアデ、プツテイ嬢がアメリカから歸つて第一回の作品である、フエーブスとしては以上四篇であるが、その他英國、フランス等のものも加へられゝば今秋は歐洲物としては今までになり數に上ることゝならう。

寫眞說明 カット 伊井蓉峰之助(晩鐘)(東亞) 右上、[illegible]之助(尾上)[illegible] 右下、[illegible](月形プロ) 左上、[illegible](東亞) 左上、右下、[illegible]

明滅燈



賑やかな秋の映畫界——別名ファンのエネルギー消滅されるの季節

◇

うまれた許りで迷子になつた中央映畫同好會、搜査廣告の必要があらうつて

◇

日活の大幹部級の總辭職、ラストお盆封切物の數畫あれに脫帽ではなく解雇のけいこ

◇

各館主連異口同音に年內に常設館が一つだけ多いが、私んとこは大丈夫だ、とこれぢやあ一つ位はあつて結構

◇

朝鮮の活動館組合よ、その後映畫料問題は一體どうなりました

◇

本紙主催全鮮野球爭覇戰當日、各館主連までが野球見物とござる、それでゐて入りが少いとこぼす

◇

[illegible]館十錢均一の連[illegible]、館主さん、今は秋ですよ

◇

聞いて、知つて、見て、おどろいたよ、ワーナーブラザース社特作『大平洋橫斷』

◇

[illegible]長二郎後援會、浪[illegible]になつたらしい

◇

[illegible]關係の新興選者に、より左づお茶子を珍發見、東亞、河合、東西各社觀衆の三トリオ。

ふりせげか

◇……[illegible]キネマ、河合プロの[illegible]、小島[illegible]映畫の[illegible]へ

の總括は

◇……まだ解決せぬ映畫館のタヂ/\の映畫料問題と合せて

◇……さすがに秋は肌かぢやわい

◇……がたゞこれだけではまだ物足りぬ

◇……洋畫に力を注ぐ事は勿論館內設備設備に一層留意して

◇……見るに、きくに心地よく、以て觀客の[illegible]とやらの魅力を充分に發揮

◇……がこんな事は所謂ファンのたは言にして館主は不可能?

映畫徒然草

羅面草人

いよ/\秋になつた、六七八の三ケ月堪へ[illegible]れて痛手をうけて悲慘なまでに行詰つた府內映畫界も秋の聲に接してどうやら息をふきかへした樣だそして各館とも內外に改良を加へ陣容を整へ斯界に見え[illegible]としてゐる、殊に浪花[illegible]キネマ[illegible]は新映畫の進出をうけた府內ではすでに殺氣だつた活氣を呈して來たのはさすがに秋なの感を深くさせられるたゞこの際私が希ふ事がある、それは[illegible]組合により一層活躍さす事である、過般設立されたこの組合は今日まで映畫料問題のみを取扱つてゐる樣に見える。これでは甚だ心もとない私は映畫料問題等は第二、もしくは第三に屬すべきものだと信ずる、それよりも各館主連が自由競爭てふ名のもとに無謀に映畫料を引下げたり上げたりすることを極力的に取締るのがその第一になさねばならぬ仕事ではなからうか、しかもこれの規定を作成せねば今後再び夏季に遭うた各館とも倒れになる樣な狀態におちいるのである。この際組合の奮起を求めるのである。

ふるつた宣傳一覽表

島田默笑(投)

1 本館[illegible]映畫界の大旋風襲來す(大)

2 天に榮光あり地に平和あり天地兩道の惠を受けて此の大雄篇出づ(京)

3 當勝の英氣溜るべからず更に巨彈を連ねて政宙に見ゆ(黃)

4 映畫、國に花咲ふ(中)

5 見よ!!此のベストメンバーを!!現代劇に、時代劇に運動劇は皆はずや。『期待』の語に絶對價值を以て三名篇を推す(中)

6 果然超てる新季映畫有價値の二ヶ巨篇(大)

7 眞此溢快破天荒の巨大篇(中)

8 好評絶大俄然昇席まで巨彈篇(大)

9 實に素晴らしいものです。到る處で噂で持切りです日本國中で(大)

10 疾風迅雷的に跳躍する本館の大映畫(京)

11 初夏の映畫壇を飾る燦爛的名番組(中)

12 痛快劇爆笑篇出(中)

13 凉味正に滴溢灼熱を一蹴して冷氣千金の趣!!(大)

14 世界最大地上唯一問題の名篇再び來る(中)

15 元氣潑剌痛快劇雄篇二大快作突如封切(中)

16 森羅萬象顛倒宇宙制覇的絶對的追從を許さざる稀有の理想的名番組(中)

おはなし

みんな間違ひ(九)

深山晃作 櫻井紅風畫

そこで郵便屋はまた思ひ出したやうに

『さう/\、イワンさんとことと庄吉さんのところへ郵便物が來てるんだがね』

といつて二通の封筒を出しました。

『これはわしのだ』『こつちはわしんところだ』

二人は素早く一通づゝ手に取つて封を切りました。兩方共寫眞でした。

『はて不思議だ、わしの寫眞には誰もいないぞ、寫眞屋が寫し損ねたんだ。馬鹿な奴だ』

庄さんがいひました。

『見て下さいよ。馬鹿らしいにも程がある、いくらわしがロシヤ人だといつて、ありもしないひげをわざ/\つけて寫す奴がどこの世界にあるものかね』

イワン爺さんも赤い顏を一層赤くして、寫眞を郵便屋に突きました。

『どれ/\、イワン爺さんのを見せなさい』

庄さんは自分のとイワン爺さんのを受け取りました。一目見てプツと笑ひ出しました。

『なんてそゝつかしやの寫眞屋だ。[illegible]の顏と、そつくりそのまゝ取違へて寫したんだ』

といふと、イワン爺さんも感心したやうに

『なアる程、こつちにけチヤンと俺の顏が出てるらア』

『どれ/\、ちよつと……』

郵便屋はイワン爺さんが持つてゐる封筒をのぞきこんでゐましたが、とてもおかしいといふやうに笑ひ出しました。

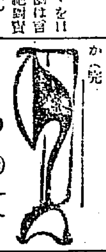
『ハツハツハ……冗談ぢやない。イワンさんは庄吉さんの寫眞を取つたんだ。そら庄吉さまと書いてある』

さういはれて庄さんもよく見ると、自分の取つたが時計の封筒にはイワン爺さんあてになつてゐましたので、

『ふゝゝ、みんな、みんな間ちがいだ、どうも郵便配達の奴が間ちがへて寄こすんだ。あんまりそゝつかしやだと思つたよ』

三人はくすぐつたいやうに顏を見合せて笑ひました。そゝつかしやばかり揃つてゐたではありませんか。(完)

JODK プログラム



九月八日(土曜日)

午前一〇、〇〇 氣象概況、各地天氣實況

同一〇、三〇 料理獻立、日用品値段

後〇、三〇 家庭講座

同三、四五 ニユース

前茶のお話 [illegible]宗師士

同六、三〇 童謠獨唱 清水咲子 ピアノ伴奏 清水幹三 本居長世作曲

同六、五〇 趣味講座 池田收水

一、巨きな箱子 二、活動寫眞 三、巴旦杏の夢 四、からす 五、海ひよどり

同七、二〇 映畫物語 私の寶物利用 花山芳美 熱血祭鬪士伴奏キネマ音樂部員 筑前琵琶 山本次郎の妻 淡海山 河村旭貫

同八、〇〇 ニユース

同八、三五 西道雜謠と京城唱 金一桑紅

一、慈心歌 二、巫女歌 三、遊山歌 四、燕の歌 南道短歌編唱と台唱 李花中仙 李中仙

一、短歌 二、祝念 三、花草打鈴 四、春香歌 五、沈淸歌

同九、三五 時報氣象概況、翌日プログラム發表

京城名物 文化まんぢう 大和軒

米穀市場と岩田式玄米

東京大阪米穀市場では白米が目方賣となつた爲玄米重量多く搗減り少なき岩田式玄米が注目され白米商の需要を喚起して取引最も圓滑となり從つて重量の差だけ値段も買進まれ格付も昇り同等級米にても大値巾を生じた。

八倍に稀めてのむ おいしいのみもの

パーピス

滿身爽快 頭腦明晰

パーピスの原料は新鮮なる純良牛乳にして乳酸菌の作用による爽快なる酸味と適度の甘味と其の香氣は直ちに味覺の滿足を得ると共に其の常用によつて整腸の目的を達し得べし

ダツトーゲン發賣元 乾卯食料品株式會社

頭痛にノーシン

たむしいんきん 皮膚病一切

小林タムシチンキ 痛ミ痒ミ ス止る

▲殺菌力偉大 ▲奏効は確實 ▲內攻もせず ▲無色の水藥 ▲にて爽快也

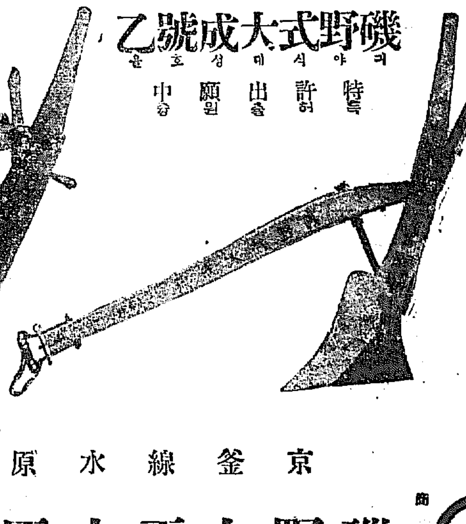
價 小瓶 三十錢 中瓶 五十錢 大瓶 一圓

大阪市京町堀 名古屋廣小路 本舖 小林大藥房 代理店キムラ 井 各地藥店に有

磯野式大慶號

磯野式大成號乙

特許出願中



愈々秋耕の季節と相成申候就て毎度格別の御引立に預り申候段奉謝候
次に七月上旬より避暑の爲め水原出張所を休み內地博多本店に歸省中の處九月一日より水原に歸り店務取扱ひ致居り候間何卒舊に倍し御引立の程奉希候
敬白

京釜線水原驛前

長電話水原二〇二番

京城振替貯金口座一五五七八番

磯野七平水原出張所

金融界漸く繁忙
夏枯の不振期から
資金需要期に入る

鮮内金融界は例年の如く夏枯閑散を呈してゐたが、九月末以降は季節資金の需要もあつたのでぼつ／＼資金の需要を喚起し此の傾向を示して來た。今京城組合銀行の預金貸出を比較してみると左の通り（單位圓）

	預金	貸出
六月末	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]

即ち金融界は絶えず資金の需要[illegible]、六月末の八千六百四十九萬圓が七月末には八千七百萬圓になり、八月末には更に四百萬圓減の八千二百萬圓となり、一方貸出も六月末の[illegible]より八月末は約百萬圓増加して來た。これは金融界が閑散から繁忙へ轉換したことを立證するもので、今後は相當資金の需要增加を見るものと豫測されて來た。即ち昨今の朝鮮の出廻り期になつたこと、繊布、各種出入資金の需要と米穀收穫期も近づき米穀資金の需要も豫想されてゐるのであるが、現に角久しく不活潑であつた

鮮内金融界は新穀收穫期を控へてほつ／＼繁忙期に入つた模様を見せて來た

旱水害地の農改資金回收
マー樂觀さる

旱害地方に對する農改資金の回收に就て本府當局でも相當懸念し、嚮に各道農改主任會議を開き善後策を研究するところあつたが、咸南地方に於ける道農の[illegible]も旱害地同様の結果を見ることになるので、當局者の對策はそれだけ增大さる譯で水害の一段落を告げたることになれば又更めて善後策を講ずるため主任會議を召集し協議さるゝ模様である。而して旱災地方に對し資金回收を猶豫することは米年度に果して回收確實に行けれ得るや否や推測し能はざる譯であり、且産米增殖計畫の前途に惡例を遺す懸念も愛へられるので當局としては農業の獎勵或は土木經營の救濟事業による餘裕を見越して出來得る限り回收を徹底ならしむる方針で、從つて融通機關たる殖銀、殖組に對して今後幾分かの緩和方法を指示する様な事があると假定しても、公然猶豫の意味を含む様な措置は全然執らない事になつてゐるたゞし此の點に關しては道の主任會議で協議を凝らした事でもあるが地方當局としては本府當局が回收を憂慮してゐる程に左程憂慮の模様なく寧ろ樂觀の模様でそれ程回收難を豫想してはゐないと

咸鏡線の全通で
沿線炭の搬出計畫
秘密に運賃協定を急ぐ

咸鏡線の全通と共に會寧、鏡城等の各炭礦、明川、吉州炭田は著しく有利となり今後盛んに京城方面へ搬出されるに至るべく豫想されてゐる。右炭田は十餘の炭礦鑛區を有するといはれてゐるが、從來搬出の關係で他と競爭することが出來ず、一ケ年の採掘は僅に十二萬噸であつた。しかし咸鏡線の全通と共に咸興、元山、京城、仁川方面を初め遠く[illegible]、京城の各沿線にも販路を擴張しうるので、各會社では鐵道局と特定運賃の協定を急いでゐる模様である、なほ本府鐵道局では咸北の褐炭は燃料とするよりも石油製造の原料とした方が有利であるから、この方面の利用につき十分調査を進めてゐるが、先般は海軍工廠の燃料研究所長工學博士大島義清氏が來鮮、視察して咸北褐炭から石油製造の有利であることを立證した。しかしてこの方面の工業に官民共同注意する事に至つたがこの工場には少くとも三千萬圓を要するといはれてゐる

日東氷朝鮮に進出
愈々大邱に移入の噂
成行を當業者注目

日東製氷の朝鮮進出は昨年來種々傳へられ釜山側においても種々豫戰を進めてゐた處であるが、愈々進出することゝなり[illegible]近く[illegible]を開始するに至つたと[illegible]へられつゝある、しかして日東製氷の朝鮮進出については[illegible]

製氷界自ら其趨勢に鑑き朝鮮に氷の販路を占めに努めてゐるがこれ又百五十トン程度のもので平壤の五百トン京城製氷、鈴木商會の各天然氷採取の設備を合しても千噸足らずしかない狀態である、一方中央物産の人造製氷も機械の故障で一日十噸内外の製出しかないので當分は益々市價の強調を持續するものと觀測されるに至つた

旱害で
旅商隊延期
十月二十日に

北鮮旅商隊參加者は六日打合會を開き協議の結果、北鮮方面各地水害の情況に鑑み、十一日出發の豫定を延ばべ來る十月二十日出發することに決定した、尚は被害各地に關園省より見舞金を呈すること に申合せ、咸南北兩道廳及間島領事館にその配慮方を依頼することになつた

粟初荷
十日早い

平壤粟作柄は昨年は不作であつたが本年は大豐收の見込みで、初荷は早くも六日不二商會から一石の新粟を京城に發送された、出廻りは例年より約十日早く、開始値相場は石四十圓であつた

朝郵、仁川、群山の三港に就航して居る[illegible]丸、大新丸、喜[illegible]、天長丸の四隻を定期船として就航させ毎月八航海をすると同時に積荷の增加に伴ひ增船すべく着々としてその準備を進めてゐるがこの外大阪米穀商會においても七月の協定を變更以來[illegible]一致し

朝郵か
萩に代理店を

朝鮮郵船會社は來る十一月一日から新受命の北鮮東京航路を開始するので、これが準備のため吉村專務は内地へ出張した。而して途中山口縣萩に立寄ることになつてゐるが、これは萩に代理店を設置するためであると

在荷沸底で
綿布新高値
當分は強調持續

綿布は高値から高値へと暴騰してゐた綿布三エーは六日遂に一圓二十五錢と前日より一圓二錢高で二百二圓とこれ又久し振りに二百圓臺に六月末以降の高値を示した。これにつれて從來比較的鈍感であつた金剛山も六日は一氣に四圓高の二百二圓とこれ又久し振りに二百[illegible]、これは綿布の[illegible]にのせ新高値を見せた。これは綿布界が久しく不需要期で引閑散であつたのが、昨今需要期に接近するにつれて假需要を喚起し、殊に三エーの如きは市中の在荷皆無で京市中での在荷は僅かに百俵足らずと云はれて居る所へ、加ふるに米商は減收豫想から迫日昂騰してゐるのでこれ等の刺戟もあつたことのために、當分は[illegible]の安値は見られぬ模様である

鮮航會に對し
辰馬の陣立なる
對抗は露骨となる

鮮航會對辰馬との競爭が一段落の[illegible]く成立しなかつた結果は、双方共幾多の感情問題から來て居る事で朝鮮の岡田東拓課長と辰馬の鮮航部長との對抗が愈々激烈となる事があるから、從つて今後北鮮航路の競爭はモハヤ避くとなつて居ると觀られ、今日の競爭が一層激烈となる事は想像に難くない。現に辰馬側では來る新航路より積極的に活躍すべく鮮航部の主任須藤氏は[illegible]

群山、仁川出身の成績組合と交渉の結果、いよ／＼大阪天滿屋商會の代理店を設け辰馬自から各銀行に保證をなし、同地で新穀の取引をなし、同地で解禁時期に下げ氏を主任として一切の荷物を取扱はしむる事に決定した模様である。又

鎮南浦は仁川朝鮮米の安値に準據ひを一任し、帶主がもしは[illegible]鮮航會の不振の荷に就いて盤米を掴む場合には、同地商人の大手のみ需要である[illegible]

國家百年の大計から
木關引上は必要
今の造林は引合はぬ
後藤本府林産課長談

米材關稅の特恵撤止は今議會に提出され朝鮮も內地同樣になるかどうかは內地で現行木材關稅を引上げる場合は朝鮮には更に特恵を設ける必要は少くとも内地の現存地位を認する程度であるが、右につき後藤林産課長は左の如く語つた

朝鮮に木材關稅の特恵を廢止することは今議會に提出されるかどうか今から判斷を許さぬが、早晩實現さるべき性質のもので内地では現行輸入稅率に對し倍率する率を行はんと業者が計畫してゐるやうであるが、これも自分は良いことゝ思つてゐる、といふのは現在の材價では造林しても寧ろ利益なくしては引合はぬ、これがため日本の造林事業は一向振はないが一方日本の造林事業を阻害してゐる

米國材の壽命 は此の調子で進めば今後廿ケ年しかなく、從つてこれ等各國への木材を保り盡して日本に輸入を杜絕した際、日本は如何にして木材の供給を調節するか、それには今日十分に造林するより外はない、故に木材の輸入稅を引上げて造林事業を助長することは國家百年の大計である。然し現在の[illegible]

支那側妬む
日本糸を優遇
紐育生取

【東京電報】ニューヨークに新設された生糸取引所が受渡生糸を日本生糸によることに決し、米國消費生絲の二割を輸出する支那、フランス、イタリーの生絲は受渡代用を認められてゐないため、廣東支那生糸業者はニューヨーク生糸取引所に對し日本生絲業者が支那生絲排斥のため設立したものとして國民政府に抗議方を陳情した

氷が不足
市價暴騰

朝鮮における今夏の氷の需要は快晴續きの影響から昨年の一萬五千トンに比し約千トン增の二萬トンに達した、これがため價格もまた昨年の一噸五圓が四圓二十錢まで二十錢をも示し、昨今の市價は千貫入一圓五錢まで二十錢を下らない。これがため價格もまた

相當の損失を見込んでのことであるが、その輸入れの程度は不明であるが、併し一般當業者としては相當の打撃を蒙るおそれがあるので、その成行きに對し多大の注目が拂はれるに至つた

家百年の大計である、併し現在の造林家中には木材關稅引上を反對する者があるが、これは一日千圓の算盤をはじいての叫びであつて、今日の如く造林が營利事業として引合はぬと自然造林する者がなく十年先、五十年先に輸入材が杜絕した際、材價は著しく昂騰するのであるからそれを見込んで自分一個の利益のために國家百年の大計から見れば閑稅を引上げて造林事業を有利に導いて行く必要がある。特に今後木材は著しく增加するから將來に對する木材供給の對策は頗る急務とすべきである

黄海道の
特賣四十四掛半

黄海道の秋繭特賣は道當局と製糸家の主張が相違したため三日の入札は遂に不成立に終り、成行きを注目されてゐたが、六日黄海道金川の秋繭は原價一千三百圓を基準として最高四十四掛半で協定成立した。而して平均相場は四千二掛で製糸家の豫想より一掛高く特賣成立を見た譯である。なほ同道の特賣は七日行はれるが、大體四十五掛見當であると

株式（七日）

京取短期

銘柄		寄付	大引	高値	安値
京取	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
京取	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
久原	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
久原	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁取	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁取	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安取	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安取	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝新	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
殖銀	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
殖銀	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
金剛	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
金剛	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

算定と日歩

銘柄	算定	日歩	代引
京取	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁取	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安取	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
電興	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鮮銀	[illegible]	[illegible]	[illegible]
久原	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大株短期

銘柄		寄付	前引	後寄	大引
大新		[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新		[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
久原		[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新		[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大株長期

銘柄	前寄	前引	後寄	大引
大株	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
久原	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日糖	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東株短期市場

	寄付	大引	高値	安値
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

短期玉表

	賣方	買方
京取	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
仁新	[illegible]	[illegible]
安取	[illegible]	[illegible]

東京現株

銘柄		銘柄	
株	[illegible]	鐘新	[illegible]
新	[illegible]	拓新	[illegible]
鐘新	[illegible]	同新	[illegible]
銀新	[illegible]	東新	[illegible]
新	[illegible]	富士紡	[illegible]
取	[illegible]	日石	[illegible]
安	[illegible]	東株式	[illegible]

日本日

	前寄	大引	後寄	前引
當先	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

期米（七日）
▲仁川

	當限	中限	先限
前場 一	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十	[illegible]	[illegible]	[illegible]
後場 一	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◎東京　前場（先）　後場（八）

◎大阪　前場　後場

大阪共米倉合　七十五錢不變

	賣方	買方	取組高
當限	[illegible]	[illegible]	[illegible]
中限	[illegible]	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◎兵庫　先限寄付　止め　前場　後場

◎下關　先限寄付　止め　前場　後場

◎桑名　先限寄付　止め　前場　後場

辯內延べ（前七日）

◎釜山（角ケ鍋良／丸ケ鍋良／出來高）

	寄付	大引	高値	安値
九中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九米	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十米	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◎大邱（現物鍋良都／神山／出來高）

	寄付	大引	高値	安値
九中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九米	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十米	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◎群山（現物丸七三等／同山／出來高）

	寄付	大引	高値	安値
九中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九米	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十米	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◎大阪棉花

	寄付	止め
前場當限	[illegible]	[illegible]
前場先限	[illegible]	[illegible]
後場當限	[illegible]	[illegible]
後場先限	[illegible]	[illegible]

◎大阪綿絲前場　後場

	寄付	同引	寄付	同引
九月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◎二十五センチメートル

◎横濱生絲

	寄付	止め
前場當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]
後場當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

◎現物最優等　[illegible]

◎鮮中銀　日本日

	前寄	大引	後寄	大引
當限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪砂糖前後場

	寄付	大引
當限前	[illegible]	[illegible]
當限後	[illegible]	[illegible]
先限前	[illegible]	[illegible]
先限後	[illegible]	[illegible]

京城手形交換高（七日）

枚數	[illegible]
金額	[illegible]

市中米標準値

玄米（九キロ四等）	一九圓六〇
白米卸値（百キロ）	二三圓五〇
仁川一等白米	三二圓三〇

株式
內地の爆發で暴騰

前場 昨六日後場落潮風情の殘光、今朝は內地の寄高暴騰を移して寄所も上放れて寄付き、アト內地の爆發に賞所も暴騰したのでこの間隙れと利喰の混亂狀態を演じ所內も活況を呈した、かくて昨後場止に比し京取同東新六十錢高東新四圓八十錢高の狂騰であつた

目先上げ一巡

後場 阪地の落潮き模様に先限三十錢十錢と寄付き、押目待ちの買物に三節は十五錢と小戾しせしも、大阪が五圓落潮れのザヤ寄りアトは八九錢から五錢と落ち目先は上げ一巡と言ふ狀態を呈した

此邊で落着か
暴騰も

前日は後場に於て一呼吸押したので一般に此邊で上げ止るものと觀測されてゐた、然るに今朝は俄然東新八十九圓九十錢と大引し昨後場止より四圓八十錢方の暴騰を演じた、これは週日來支那問題や金解禁問題等で株界は一入不振を極めてゐたので各仕手は活氣ある期米に出動してゐた、然るに一朝米價百八十五圓臺に乘せ來たので米に集つて居た人氣は再び株に返り從つて投機資金の應當を求し、それと共に東新を中心に買方一派はこれに對する強派筋の觀測は、米價暴騰を機會に切つたため秋米相場の出現は當然な事である、日に一寸保つた時に高暴落長の勢であらうがまた戾しこれを機會に一波を見るといふ観方もあるがモウ少しは上くであらうと見られた、併し要するに今回の爆發の最大原因は氣過ぎの反動高を出したと見て東新八十九圓臺に於てこの高値が依然上昇すべきかは甚だ疑問にしてこれは一時的の現象でこの邊は暫く保合ふものと見られこの機に乘じこれ以上持上げすることは不可能とされてゐた

今後は
戾賣り得策

鮮米の高値は內地が俄然上放れに寄付いたので早くも目先高況を見越しての買氣暴騰に加はり活況を呈しつゝ潮騰歩調を辿り東新は遂に百八十九圓九十錢と東新は九十九圓三十錢と近頃の高値に昂騰した、これに對し地場筋は松山、成瀬等の買進み

落穗

今後の風潮は種々の情報から綜合して確實になつて來た▲なるべく避けたくなかつたが、ドはそうは紙へたくなかつたが、ドウも二間が出遅らしい▲その綿糸綿布繰綿の輸入となるが、▲當局でもこの邊に觀取に努力してゐるらしい▲棉織物の輸入狀況、緊除、鮮米の關稅撤廢も非常となりそうだ▲近く當局は三井、三菱、北鮮、澁澤、久太郎商店など大手筋を集めて懇談するとか▲更に角國作の對策が此に確定されて持たれて來た▲鮮米では悲しい▲不評の朝鮮商船の航路を開拓する事態なので好意をてほうつて置きはせぬ▲辰馬汽船みれば唯一の北鮮航路として繁して朝鮮の航路を翻て積極的にやることに決定した▲今年も大喧嘩が始まる模様

つよきよわき

株式 前日後場で一呼吸したので、頭派もキャレ／＼と氣を吐き下した、しかし今朝は又々內地つゝ沈ひたり沈んだりするので仕手は何れも泥田の醜見たいに酔されてゐる

△今節も三十錢八十錢まで暴騰かと思ふと止めは十一錢と叩かれるなど全く狼狽的變化である、これといふ事に大した材料があるわけではない、只阪地の高下によつて人氣の變化が激しい結果である

△然し上げ足より下げ足の程度が鈍になつた事はそれだけ人氣が落ちて來た結果と見る事も出來るのでこの邊賣方の警戒すべき必要があるで

期米 相場が毎日六、七十錢は大暴騰だ

期米

阪場の爆發で
引續き波瀾狀態
人氣買過ぎ模様

前場 昨後場東、西兩市場の暴騰を受けて更に買方が買力の追い相場を出すかも知れないと云ふ人氣潮厚となれる折柄、今朝東京が先物三十六圓五十一錢大　三十五圓二十一錢　と何れも上放れを受け二層買氣を煽り新高値して中物三十圓六十九錢先物三十圓五十九錢と前日の止値より十二圓に寄付き狂騰から五十六錢と仲九銭高に寄付き中物三十一錢から五十一錢と伸び

小口筋の買物殺到して 賣派の防戰も相當潮くアトは六十錢から遂に八十錢と更に爆發を演じたが、引値俄然阪地の暴落を受けて忽ち高値掴みの狼狽的投物や其所を狙へる賣派の追撃に九節は五十二錢か[illegible]ら止めは十一錢と急轉直下の慘落を演ずるなど市場は凄然たる光景を呈して前場を納つた

落着き風情

後場 前場暴騰の[illegible]先後場は[illegible]

波瀾含みの狀態
主なる手口

昨後場は一呼吸に反し、今前場は阪地の爆發に當所も我然狂騰したので、早くも活氣付き崩と利喰の混亂狀態を演じたそのうち主なるものとしては大新に對し正崎、松山の利喰賣り、田中濱其他小口の賣れものあり、買は新に對しては大林、正崎田中友、洪股の利喰賣り京證の新中均々崩れ物成落の買進みがあつた、かくて昨後場の出來高三五〇枚に對し今は京取

代引變化少し

今朝の相場は內地の爆發を移して當所も暴騰を演じたので算定には大部變化もあつた、併し代引狀況には大した變化なく京取は千百二十枚と四十枚を減じ、大新は七百七十枚と百十枚を東新は九百四十枚と八十枚を各々增加した

買捲により
吹値賣りが得

東京市場が買方の追證納入で立會を開始すると買方の開戰で再び買捲られる事は何人も豫想されてゐた所であるが、然し三十萬石以上の大阪組となれる中限に強方が追詰を悉く納入したかそれ丈けの方に現物を用意して居る結果と目る向が多く、從つて心ある手口は此邊買進みを躊躇する向がいのみが、東京の買方が勝に乘じ此の上手を掴げて買捲る事は現在空想りと目すべき事も實米化し却つて將來に抜き刺しの出來ない破目に至らぬと限らないので寧ろ吹き値持ちに賣る方が安全だと云ふ説が弗々有力となりつゝあつた

阪地の寄高に當所も小戾りに寄付いたが、アト阪地の下押しに當所も落潮風情を呈した、かくて昨後場止に比し大新一圓五十錢高東新三圓九十錢高であつた

前場寄付京證、夏の小口▲買方松山三〇京取新、買方正崎二〇松山二〇大新、買方正崎七〇大林三〇東新、買方正崎四〇成瀬七〇松山六〇

四〇鐘新一〇大新五〇東新二〇二〇合計二、六二〇と云ふ盛況であつたこのうち三〇枚以上の手口左の如し

[illegible]

を除いては買氣なく賣物の續出となり波瀾を見せ賣派優勢の狀態であつた、併し今朝暴騰も依然これとした材料なく買方筋の煽りたものであるからこれ以上まだ上向くものとは思はれずさりとて下押しでもすれば一同が手を掴げて待つて居る狀態である、かくの如くなので今後の賣派としては戾り賣り方針に行くより外あるまいとされた

淺野は
下鞘見越の乘替

一時上鞘を示した先物が前日來、鞘近が引縮つて先物が下鞘となつた事は米高に依り賣方が鞘近を崩れ退く中面先物に對しては人氣の買思ひから地場が下發成となつた結果である、從つて今後共此の鞘關係は先物が鞘近より益々擴大

不二興業は
持米を提供す

未だ當、中で一萬四、五千石の賣玉を固執されて居る京城の不二興業は東京、大阪の兩市場で約四萬石に近い建玉を有し仁川に賣玉と相殺すれば二萬四、五千石の賣玉が殘る模様である、而して現在手持せる正米は約二萬石で主に群山と仁川に貯藏されてゐるのが、仁川の賣玉に對しては其の持米を全部提供する事に決定し群山に在る米も近く仁川へ廻送する模様である

株式 債券 賣買 金融
京城黄金町京取市場（營業案內送呈）
古川株式仲買店
電本三〇一〇・三三四五

する語りが中限に賣玉を有する東拓淺野筋の如き先物の大下鞘を見越して乘替へてゐる狀態であつた

阪地安の原因

今朝阪地が俄然崩れを演じて頭因につき午後二時の入電によると天候の回復に八日の白熊無難見越しで九州中東筋の利喰賣り現はれ地場下げ發成と相俟つて三木の猛烈賣りによる結果であると、尙加須によると東京高は休會中總解合が出来なかつたため、空買り筋の崩れ買に上放れたが、今後は東京

京城穀物組合建値

▲ミードン　產地指井四圓當地拾十二圓八十錢▲粟　海城十二圓八十錢遼陽十二圓四十錢鐵嶺十二圓六十錢昌圖十二圓四十錢四平街十二圓四十錢▲大麥　極上　九圓五十錢（中）七圓五十錢（並）五十錢▲小麥　沙里院物十七圓十錢鳥致院物十六圓▲有用物十六圓六十錢▲小豆▲龍山二十圓五十錢▲綠豆滿洲物二十二圓朝鮮物十九圓五十錢▲高梁九圓四十錢▲稗麥（搗）十三圓▲碎白米　一等碎白二十三圓　碎白上物二十二圓二十一圓

正米爆發

一時買物を唱へられてゐた正米も東京方面から定期の渡米と目すべき石拔米の上物を狙りに買進んで來るのを白米は阪地方面からかなり的つて注文が入り込んで居るため各精米筋は買場筋の買物も前日より一高を示し、㊀田三等二十九圓八十錢四等二十九圓二十錢②四等二十八圓八十錢精上物八十八圓在來種八錢二厘　等白米九仁川三等三十二圓三十錢精米組合一等白米三十三十二圓五十錢物米十二月勝手渡し㊀田三等三十圓二十錢の唱であるが、手持者はモウ一段の高値を見越し賣り惜げる向が少い模様であつた

京城正米

各地期米低落なれど產地側は先高見越して賣物極度に潛め高張り一方倫喜▼は內地より定期の繋ぎ米の入注矢張旺盛を續け今日も又七八十錢の昂騰を呈したる處も地場玄米は一向買振はず却つて軟調であつた㊀田三米二十八圓十錢四等二十九圓六十錢今指一等白米二十三圓五十錢鮮白米一十九圓七十錢觀改良種八錢八厘在來種八錢六厘大豆龍山十八圓七十錢通國十八圓二十錢金汗十八圓

正米

大豆
大豆全部出來不申

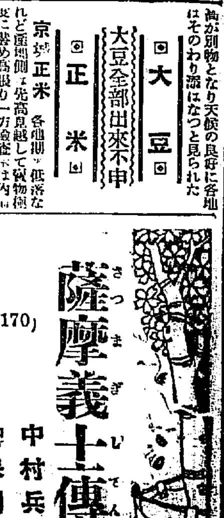
晴が別物となり天候の良好に各地はそのわり潮はなつと見られた

大豆 單山鐵原十八圓九十錢長湍十八圓天　十六圓九十錢であるが、買方の見送りに頭重き風情であつた

各地の天氣（七日午前）

地名	天氣	地名	天氣
東京	曇天	木浦	曇天
大阪	曇天	群山	曇天
神戶	曇雨	鎮南浦	曇雨
下關	晴天	城津	曇雨
鷗岡	晴天	元山	曇雨
函岩浦	晴天	大邱	晴天
仁川	曇天	釜山	曇天
京城	曇雨		

京城明治町二丁目
中央婦人科院
院主 衣笠 茂
電本二三四〇番



薩摩義士傳（百七十）
中村兵衛作
紳保朋世畫

工事の竣成

美濃の國一郡、尾張伊勢二ケ國の谷一郡にわたり、延長六萬〇三百六十一間、即ち二十八里の一の手、二の手、三の手四の手の治水工事を一貫も早く成就せしめ給へ、三國八郡の民を救はせ給へ」と度神祇に祈誓をかけてゐた。神の力か人の力か、寶曆五年三月の二十八日に、最後の締切工事たる四の手は落成した。嫉害に次ぐに嫉害、暴逆に重ねる暴逆、嫉妬の魔の手もおよばず

して凱に沈黙を排したとげ文字通り美ごと工事終了の報告を江戸表へ報告しうる事となつた。老中西尾隱岐守は、舌をまいて驚歎した。

「あれ程、目附役人をして、工事に不利ならしむるやう、仕向けたに、僅か一年有余にして竣工さすとは……だが然し薩を錦ふ一時の上首尾と申す事もある。一時の糊塗に脫じて許さず、嚴密なる檢分を致させ

やー」

牧野織部は更に土地の役人、與瀬奉行代官に向つて工事工監の模樣を問ふた。

郡代新家次郎九郎、笠松郡代高木玄蕃、高木新兵衛等はいつた。

「われ／＼はこの地の百姓町人と共に、薩摩武士を敵の様と同ひまする。彼の勇猛たる人々や、餘死したる人の數、工事落成の上は一大供養をせねばなりませぬ」

といつて工事工監より先に、その功勞をのみ稱へた。國役人も意外の喜びで、これから實地檢分と

なる。

「幸論國い事と申さうか、粉り強いといはうか、薩摩義士の感情我慢には、われ／＼もあきれ返つた程だ。如何なる嫉害にも屈せず、一心に土方人足となつて働き、およばざる事や失態あらば、一々その度ごとに割腹する者が出來る。命を粗末にする者ばかり、豪といはうか愚といはうか、薩摩義士の本心は、今にわれ／＼に解らぬ所ち

竹中傳六を檢役の隱瞞目附役者として、國に一年余の間に、四十余名の病死者三十余名、合計八十余名即ち薩摩義士は同行者千中の百分の八を、治水工事犧牲者に供したのであつた。

工費三十五萬兩も一殿に三百萬兩說もあるが、金額の多少はいはず、人命八十を生贄に供したるは余りに高價な犧牲であつた。しかして工事の責任者たる島津家國家老にして総奉行千石の平田靱負は、瀬を呑んで、これ等の犧牲を後ものに、懸命に努力して、唯々願ふ所は工事の竣成にあつた。

ん」

目附役として牧野織部が、定吟味役として細井政省の二名に監督を加へて、實地檢分に遣はした。

「不都の點あらば容赦なく再工事を命ずべし、強むにおいては強硬なつて江戸表へひけ、又手向ひなど致す者あらば、即つて捨てゝ苦しからない」

殆ど暴逆の囚人に對する如き態度を以て、牧野細井の兩士に嚴命し、遠く奧濃の國揖斐川へ赴かしめた。

兩士は到着と同時に、前から工事監督に出張してゐた目附役岩野三次郎、大久保荒之輔、新見又四

京城日報
發行所 京城府大和町一丁目 合資會社 京城日報社

生命保險の契約者の爲に

生命保險證券に記載された金額は即ち貴下の財産を表するもので貯金の樣に掛金と利子だけではありませぬ中途で解約したり掛棄にすると折角の財産を失ふ事になります又健康や年齢の關係で再び保險に、はいれぬ場合が出來ます生命の不安は何時來るか何人にも分りませぬ、それ故解約や掛棄は禁物です、若し止むを得ぬ事情が起つたときは仲介業者の手を經ず會社に直接御相談下さい、會社は出來る限り親切に最善の方法を講じます

社團法人 生命保險會社協會

25年來の第一車

Buick

弊社は今日より三週間內に或優秀自動車に關する極めて重要なる發表を致します

日本ゼネラル・モータース株式會社

資本金57,500,000圓
積立金61,550,000圓

京城府南大門通二丁目
第一銀行
京城支店

朝鮮地圖販賣元は
京城長谷川町小林又七支店
御一報次第一覽表送呈
朝鮮總圖
朝鮮質地圖
外參拾餘種

模範 全乳
東亞牧場
（電話本局二五二番）

資本金五百萬圓
一、當會社は確實を本旨とし御便利に業務御取扱可申候
一、當會社は損失を公平且つ迅速に支拂可申候
電話又は御一報次第社員參上可仕候

日本共立火災保險株式會社
取締役會長 原 錦吾
本社 東京市京橋區南紺屋町二六
京城出張所 京城府本町三丁目三九番地 電話本局一五六六番
出張所長 三鍋才次郎
鮮內代理店所在地 京城、平壤、仁川、釜山、大邱、大田、鳥致院、木浦、群山、全州、裡里、江景、鎭南浦、元山、咸興、清津、新義州

早稻田大學講義錄

政治經濟講義
第五十四回 開講 十月十五日第一號發行

▼政治經濟に關する學理及實際の綜合的講義

政治と經濟とは社會各階級の自覺人が求めて已まぬ最必須の常識である。本講義は早稻田大學政治經濟學部の制に則つて講座目を最も系統的に配列し、飽くまで大衆を本位とし理解し易きを第一とし平明に深遠なる學理を講述したもので、苟も新聞雜誌を讀み得る人であれば何人でも了解が出來る。敢て新時代の自覺せる社會人たらんとする者の机上に薦む。

每月一回發行 學費月壹圓貳拾錢 一ケ年半修了

法律講義
第五十二回 開講 十月十五日第一號發行

▼最新の法理を懇切に解說した唯一の講義

法律智識は立憲治下の國民として一日も缺くべからざる必須の智識である。本講義は早稻田大學が大學普及事業の一つとして發行するもので、單に營利を目的とする投機的刊行物と其撰を異にする。教養ある模範國民として新時代に處せんとする者、官公吏乃至法曹家として世に立たうとする人々は寸時も躊躇なく本講義に就かねばならない。

每月一回發行 學費月壹圓貳拾錢 一ケ年半修了

文學講義
第四十五回 開講 十月十五日第一號發行

▼一般文藝愛好者、研究者の豫備的教養機關

眞に生活に徹した文藝の鑑賞家、批評家、創作家、研究家たらんとするには、他の學問と同樣、否、それ以上にさへ準備が要る。本講義は、即ち、さうした眞面目なる一般文藝の愛好者に對して、東西古今の文藝の鑑賞、批評、研究に缺くべからざる豫備的教養を與へると同時に、文檢國漢文科受驗者の好伴侶たらんことを期するものである。

每月一回發行 學費月壹圓貳拾錢 一ケ年半修了

電氣工學講義
第二回開講 十月十日第一號發行

▼理想的な遞試第二種第三種の準備機關

早稻田大學が電氣工學智識の普及を目的として最も完備した組織のもとに發行したのが本講義である。既に昨秋第一回生募集に際しては入學生の申込殺到して收容し切れぬ程の盛況を呈した。今回第二回新學年を開始するに當り、斯學研究者、遞試受驗者の爲に更に內容を刷新し、諸權威者の名講義を蒐集して最も平易に電氣工學全般を詳述してゐる。

每月一回發行 學費月壹圓五拾錢 一ケ年修了

各講義共 見本進呈

發行所 東京牛込 早稻田大學出版部 振替東京一一三 電話牛込三四五・三四六・三七四八

萬人皆泣く健氣な婦人
あゝ悲運の富士子

（幸福なりし少女時代を忍ぶ富士子）

無情冷酷の夫、破倫の妹、
病弱の父、生さぬ仲の繼母、それ等を
纖弱き一身に背負つて
奮闘しつゝ人を怨まず、あまりにも悲しき運命に泣き
乍らも健氣にも正しき道を歩む富士子！
而も後より〳〵と怖ろしい事は降りかゝる

熱淚‼感淚 之を讀みて泣かざる人なし！

日本中大評判の大力作
「佐藤紅綠先生「裾野」」（富士十月號にあり）

「裾野」は佐藤紅綠先生が一心こめた小說で、讀書界は勿論、どこへ行つても大騷ぎです。是非諸方もお讀みになる樣お奬め致します。

◎兵營美談 美しき感淚 （忠義の父至孝の兵士、感激の熱淚なしに讀み得ぬ感動讀物）……三浦樂堂
◎義血侠血 一心太助 （天下の御意見番大久保彥左に當見する快男兒一心太助の義俠談）……野村無名庵
◎美男美女 三國一の贈物 （貞烈の美女へ贈る三國一の美男武士。花も實もある戰國美談）……安藤龍三
◎謎の密使 赤城山大秘錄 （幕末の大戰亂に絡む大秘錄で、目下日本中の大評判讀物はこれ）……岸井濵浪
◎豪勇無双 粂の平內 （劍を取つては天下無双の達人粂の平內が孝子を助けて仇討本懷）……寶井馬琴
◎悲戀悲劇 女四人 （新婚旅行の花嫁花婿に向つてピストル放つ悲戀の美人、咄！咄！）……貴司山治
◎孝子の譽 烈女の一念 （獄門首を引攫ふ絕世美人の烈女お蓮に危機迫る、悲絕壯絕！）……鈴木彥次郎
◎妖盜出沒 鬼三味線 （狂ひ廻る荒馬を見事取つて押た美人、是こそ神出鬼沒の大妖盜）……小泉長三
◎立身出世 リンドバーグ （飛行界の大勇士リンドバーグが苦心の出世と大膽不敵の放れ業）……中正夫
◎切支丹話 寶曆秘佛變 （絕世美人の唇より驚くべき快啖呵！之ぞ奇怪大陰謀の張本）……橋爪彥七
◎美男劍客 落花劍光錄 （若衆劍客龍之丞を仇と覗ふ少女雪路、懷劍片手に雪中の大活劇）……三上於菟吉
◎怪人出會 女來也 （怪劍士を飜弄する前髮立の美少年はそも何者？一讀手に汗握る）……吉川英治
◎抱腹絕倒 奇物變物 （お腹を抱へて轉げ廻る程面白い愉快無類の滑稽小說！）……佐々木邦

右の寶物は全部『富士』十月號にあります

またこの外澤山の快篇
漫畫、美談逸話、奇談珍談
笑話、謎々、智恵くらべ
新知識、名人物語等數十篇！

◎定價僅か五十錢（送料三錢 全國書店にあり）
大變な評判、賣切れぬ中早くお求め下さい！
—東京本郷駒込坂下 大日本雄辯會講談社發行（振替東京三九三〇）—

飛び拔けて面白い

捕物名人右門の大活躍 卍の文身事件 （電光石火の早業で、キビ〳〵した岡っ引振り、江戸ッ子右門が一世一代の大捕物、痛快壯烈手に汗握る！）（佐々木味津三作）

◎盲人の名射手（復讐奇談）
◎やかんなめ（落語）
◎刺客血淚記（革命哀話）
◎快傑横井小楠（逸話）
◎左衛門袋（奉公美談）
◎夕立勘五郎（大俠客傳）
◎天晴れ貞女（繪物語）
◎神の賜物（泰西物語）

小僧から大會社重役に
波瀾萬丈 血と淚の奮鬪傳
（古河電氣工業株式會社專務取締役氏が、裸一貫から、今日になる迄……感奮興起させられる）

眞相を究めた上で政府は對策を講ずる
七日定例閣議の席上 田中首相が報告

【東京電話】七日定例閣議は午前十時開會旅行中の三土藏相を除く全閣僚出席 まづ田中首相兼外相より
一、經濟審議會の制度調査委員以下の顔ぶれは昨六日御裁可があつた經濟審議會は經濟財政社會施設に關する根本策を決定する機關であるから山本、中橋兩相の意見並に各僚の諒解を願ひたい 第一會議は前田幹事長の手で決定する事となつてゐるが本月中旬開かれよう
二、矢田上海總領事は昨夜歸任したが出發に先立ち特に政府の方針として國民政府が反省することなく依然非友誼的態度を續けるに於ては一切の改訂商議には應じられぬことを言ひ含めてをいた
三、國民政府は邦人の原告たる係爭事件については妥協をなすも審理又は判決を保留し懸案の解決をまつと通告して來た由であるが政府は公正をまつて陳情をきはめ鋼鐵を講じたい
白川陸相、陸軍にも上海臨時派遣が左様なことのあることを報じて來てゐる
山本農相、一、米作豫想九月一日現在は先きの八月十五日現在よりは悪いが最近天候も著しく回復したから或ひは平年作までは漕ぎつけ得るかも知れない、作柄は大體日本海岸寄が良く太平洋岸は悪い
二、最近期米の高騰につき農林省は大して問題としてはゐない しかし期米高が影響し正米の暴騰を見る如き場合は何等か對策を講ぜねばならない、現在の正米相場は昨年十月頃の平均相場より安い位だから生産者としてはまだ滿足出來ぬ状態であるから目下のところ米價調節策を講ずる意志はない
中橋商相 最近期米の暴騰は或程度まで人爲的と見られこの際特に期米取引を停止する如きことをすれば正買の一方に不當利得を與へる虞れがあるから當局は絶對に干渉せず自然の成行きに任せるつもりだが自然米價は常態に復するであらう
と述べ零時半散會した

議の改造左院々長の人選その他重要な案件につき懇談し細目具體案は南京にて協議すること、し手順を胡漢民氏に一任して第五次全體會議を終了深夜に至るまで懇談を交へた

臨時辦法を適用した事實は全然ない
白々しい態度で否認する王氏

【南京七日發】王正廷氏は左の如く語つた
一、國民政府は不戰條約參加に決したから近く駐米回答も發表し駐米公使施肇基を支那全權として調印に當らせることとなつた
二、日支條約改正は速やかに期待し難いから寧ろ濟南事件解決を先決條件とする積りである
三、日本側は臨時辦法適用の事實ありと言つてゐるが、さる事實はない
四、日本は私かに張宗昌を援助し百二十萬元の借款に應じ正金銀行を經て張宗昌に交附したとの噂がある而して張は右に對し膠濟線を抵當にしたと言ふが若し事實ならば重大問題であるから駐日汪公使に眞相調査を命じた確證が擧がれば國民政府は斷乎たる措置に出でる決心である
五、佛支南京事件交渉はフランスの要求する賠償額は大に過ぎる爲め目下の状態では妥協點を見出すことが困難である

汪公使有田局長訪問

【東京電話】汪支那公使は七日アジヤ局長を訪問し國民政府の命により日本が張宗昌の北支擾亂を援助したとの說につき眞相説明を求めたが有田局長はさる事實を承知せず十分調査を遂ぐべき旨回答した

英、米、佛は別に異議もない模様
日本は内容次第では反對 差等税率の問題

【北京六日發聯合】國民政府の差等税率實施に關してはなほ紛糾なく從つて同税率の分類は同税目において協議された内容と同一であるかどうか、また該税率の運用條件なども不明なので關係各國はいづれもその態度表示を差控へてゐるが、大體においてアメリカはすでに米支關税條約において國定税率を認めてゐるから差等税率に殆ど無條件で贊成であらうし英佛はアメリカ同樣、さして異議なきものと見る向きが多い、一方日本側の意見を綜合するに日本は關税會議において決定せる税率を内容とすれば必ずしも反對でないが、分類の如何によつては反對のやむなき立場にある、またこの税率による收入の用途に關し、これを不確實債務の償還にあつるなどの條件を附すべしとの意向である

白崇禧氏
新井司令官訪問

【天津七日發】白崇禧氏は七日新井駐屯軍司令官加藤總領事を訪ひ日本軍の嚴正中立を希望し國民政府の外人保護策につき説述した、國民軍はなほ主力軍の出動を見ず一方奉天側は張宗昌の態度强硬にて灤東方面の戰鬪若くは決戰を避けず飽迄灤河の線に踏とまるべき事を强硬に主張してをり直魯軍解決問題は異常の注視を惹いてゐる

露支協議の總商部代表カルノヤン氏を代表として六日ひそかにハルビンに派遣した

林奉天總領事外相と會見

【東京電話】林奉天總領事は七日午後二時外務省に登廳出淵、森兩次官各局長に歸朝挨拶を述べたが田中兼攝外相は八日總領事を外務省に招致し滿蒙問題に關する報告を聽取し新滿蒙政策につき協議するはず

松井少將東上 八日朝京城通過

【奉天七日發】松井少將は七日午後二時四十分發列車で東上の途についた

和議成る

【上海七日發】蔣介石氏と李濟琛氏の和解成立したので兩氏は六日夜七時から宋子文氏宅において手打の宴會を開いた出席者は胡漢民、戴天仇、蔣介石、李石曾、李濟琛、李宗仁、譚延闓、宋子文、蔡元培の九氏、船上陸戰的に中央政治會

咸南知事より本社へ謝電
水害義捐金に對して

本社より贈つた水害義捐金に對し七日夜中野咸南知事より松岡本社長あて左の如き謝電があつた
今回本道の水害に際しては早速御見舞をかたぢけなうしかつ多額の金品御惠贈にあづかり、茲に御厚意を謝す取あへず謹而御禮申しあぐ

山東の土匪軍

【濟南七日發聯合】濟南附近の縣城を占領せる土匪軍は同地住民に對し凡ゆる暴虐の行爲をなし、國民黨軍なりとし勢ひに乘じて、山東國道沿線二十支里以内に侵入し膠濟鐵道沿線を脅かすおそれがあるので、わが派遣軍は萬一をおもんぱかり七日朝濟南駐屯の歩兵二ケ中隊工兵一中隊砲兵一中隊騎兵若干を張店に派遣し同地より東方の警備に從事せしめた

北支共産黨員の狼狽

【北京七日發】過般露國領事館で逮捕されたロシア副領事ナウモフ氏は監禁してゐた、勞農政府の天津勞働黨部にあてた重要書類數を沒收されたため、天津および北支共産黨員の狼狽甚だしく〆ス・ニー氏および共産黨幹部は

支那問題と政局
【三】 丸山幹治

即ち田中政策派に對する反對である。たゞ政權といふものが驚くあらゆる不平を押へつけてゐるので、政友會ではこれを以てその總數を誇るであらう。最近の政局が支那問題を目的として動きつゝ、あるのは注目すべきである。三三日政友支那から歸朝した犬養毅氏の歡迎會が東京會館で開かれたが、政府からは田中首相その他、民政黨からは若槻禮次郎氏その他が出席して犬おん大をはじめ總出ともいふべきであつた。長島が歡會の辭を述べ犬養氏が同氏の講演に對して謝辭を述べたのも、この會の性質を語るものがあつた。所が床次氏は結果の非常に熱心に歡迎して、大いに我意を得たりといつた顔付をしてゐた。床次氏の新黨が少くとも民政黨のためには大打撃であつたに相違ないが、民政黨はまた田中内閣のために盡すべき事あると述べて了ふことは出來ない。その點長、或る人が床次氏にお忙しいでせうといふと、いやこの頃は毎夜寢るのが二時三時になつて困ります、然し身體は鍛錬りの丈夫なので、有難いと思ひますといふ。傍らの人が日本の總理大臣は世界で一番忙しい大臣職なのでもそれで參つてしまふ。從つて總理大臣になる資格は健康といふことにあるので、閣下は充分その資格がおありになりますと本氣らしくいふと、床次氏は滿面に喜色をたゝへて、腰り上がらんばかりにして喫笑してゐた。蓋しそんなことをするなよといつてやりたかつた。その床次氏のお歡迎の數日前としてとつ近者に語る所のものはいろ〳〵ある相だが、中に一つ中々尤もらしいのがある。それは民政黨時代、外交政策の人々が床次氏に同情しては、濱口總裁の態度はあの通りだから、閣下も御辛抱をなどといつたものだが、夫は如何にも濱口氏の疑惑を買ひにして床次氏を牽制するやうな口吻なので一層暗愚をさしたといつてゐるとか知れず。しかし床次氏が濱口氏に對する態度上、民政黨を脱退したとはどうも思はれませんね』（九月一日）

經濟審議會
會長は田中首相
副會長以下委員幹事等 七日發表さる

【東京電話】經濟審議會々長は官制の定むるところによつて田中總理が就任したが、副會長委員幹事は七日左の如く發令された

經濟審議會副會長被仰付（各通）
農林大臣 山本悌二郎
商工大臣 中橋德五郎

經濟審議會委員被仰付（各通）
貴族院議員侯爵 大隈信常
同 子爵 牧野忠篤
同 男爵 志村源太郎
同 稻畑勝太郎
同 郷誠之助
同 藤山雷太
同 若尾璋八
同 渡邊千代三郎
同 大川平三郎
同 藤田謙一
衆議院議員 山本條太郎
同 土方久徵
同 團琢磨
同 堀啓次郎
同 馬場鍈吉
同 伊藤大郎左衛門
同 阿部房次郎
日本銀行總裁 木村久壽彌太

經濟審議會幹事長被仰付
法制局長官 前田米藏

經濟審議會幹事被仰付（各通）
内閣書記官 長谷川赳夫
法制局參事官 金森德次郎
資源局事務官 松井春生
社會局長官 長岡隆一郎
大藏省理財局長 富田勇太郎
東京帝國大學教授 佐藤寛次
同 土方成美
農林省農務局長 松村眞一郎
商工省商務局長 副島千八
遞信省電氣局長 村井二郎吉
鐵道省運輸局長 寬正太郎
日本銀行理事 渡邊鐵藏

經濟審議會幹事被仰付（各通）
柳 桂之助
渡邊 鐵藏

小寺氏除名
きのふ正式通告 小泉幹事長から

【東京電話】小泉幹事長は濱口總裁の意をうけて七日正午小寺謙吉氏を訪問しまづ脱黨を勸告したが拒絶されたので正式に除名を通告した

外部には頗る大袈裟に傳つた
涙を振つて斷乎たる處置 濱口總裁語る

【東京電話】今回の問題はすべて黨を思つてやつたことで事實は外から見るよりも外部には頗る大袈裟に傳つたが、今後自分は總務幹部會員全部と氣をつけ、再び斯様な事が起らぬ樣に努めたい、しかして黨内をかためて今後は専ら對外的に活動を開始し、來る十九日の大阪を振出しにやるつもりである、小寺君のことは眞に遺憾に堪へない、氏は同志會以來の古い友人ではあるが、今度の處置とは別問題に余り勝手な事が擧つたからやむを得ず一先づ自發的に脱黨を勸告させたが、きかないので涙をふるつて斷乎たる處置に出た次第である

全國稻作
九月一日現在

【東京電話】農林省發表本年の稻作況は苗代時期に於ける天候概ね適順なりしを以て苗の發育良好なりしが移植時期後は天候不順にして殊に土用入り後は雨天持續し且つ氣溫低くかりしを以て稻の生育漸く徒長の嫌ありて發育充分ならず加ふるに稻熱病の發生を見たると地方に依りては水害又は旱害を蒙りたるもののありしを以て八月十五日現在に於ける作況は『普通』の状況にありしが九月一日現在に於ける作況を見るに二百十日の厄日は平穩なりしが八月十五日以後に於ても天候概して順調を缺ぎ一部地方に於ては風水害及蟲害を蒙りたるもののあり全國的に通觀すれば其の程度輕微なるを以て尚普通の作況にあるもの、如し

高橋正雄氏講演
題『湧き出づるもの』
八日午後八時 來青閣にて
來聽無料

海軍協會の支部設置下相談
入城中の堀内中將が官民有力者と協議

海軍協會副會長海軍中將堀内三郎氏は其の滿鮮における同會支部設置の實施の途、七日朝入城目下滯在中であるが氏は京城にも支部を設置する意嚮で八日午後四時半から朝鮮ホテルに本府各局部長を始め官民有力者百余名を招待し支部組織に關する相談をすることになつてゐる、同協會は東郷元帥、財部大將、齋藤子爵などを名譽會員とし内田嘉吉氏を會長に戴き専ら日本國民に海軍の知識を與へ、會員には海軍の主張をはかりかつ又ジュネーヴや華府の軍縮會議などの際は輿論の統一を期し國論を統じて軍備を支持し海軍の發展を援護することが使命である。右に關し某所の談會長は左の如く語る
日本は四面環海にして海軍力なくしては一日も安閑と暮せない然し國民の多くは海軍の知識に乏しく且又無關心である、これを是正するために海軍協會といふものが大正五年に組織されたが今回設立した大連の支部を加へ支部九つ、會員は五千七百名一向見るべき發展もせぬ元來海軍協會はネビーリーグといつて外國に倣つたものであるがアメリカ、英國では無數の支部と數百萬人の會員を有し戰前のドイツは八十萬人佛國は現在六十萬人の會員を有してゐる、日本は前に申したように四面環海で海軍力なくしては一日として存せない立場にありながら支部九つ會員五千七百余名といふ貧弱さである、以つて如何に日本國民が海軍の思想にとぼしいかが判る これを是正し大いに海軍知識を普及するのが本會の使命である大方諸彦の援助と參加を請ふ次第である

國有財産調査員一行入城

國有財産調査の任をおびて貴族院議員藤田四郎氏會計檢査院第一部長河野男氏大藏省國有財産課長安江好治氏は根木局を從へ六日夜入城生田、淺利の兩局長有賀殖銀頭取依光秘書官等多數の出迎へをうけ夫々投宿に入つた尙一行中に加はつて渡鮮すると傳へられてゐた拓殖局長成毛基雄氏は數日後來鮮する豫定（寫眞は京城驛に於ける一行 右より安江大藏省國有財産課長、藤田貴族院議員、河野會計檢査院第一部長）

禍根となつて逝く
金虎門前の兇刄が 京城の長老として重きをなした佐藤氏

大正十五年四月廿八日李王殿下薨去せられて秘書官や親族等昌德宮へ御弔問のため參入せんとして、金虎門にさしかゝつた自動車が、突然現れた兇漢の手にほのめく兇刄は躍つて車上の二人は血まみれに斃れた、瞬く間に倒れたうちの一人高山孝行氏は即死し他の一人佐藤氏は重傷であつた、佐藤氏は城大附屬醫院で癒えたが、いま同じ醫院で當時の重傷が禍根となつて佐藤氏は昨七日死去した。堂々たる體躯、白髮溫容の風貌は京城民間の長老として親まれて居た、謹嚴な態度で殿下の溫顔に酷似して居た事も一話柄として遺されたのである、氏は和歌山縣平民、元治元年六月十五日和歌山縣海草郡に生れた、壯年において普通教育を修め、明治十四年一月早くも横濱に出て原富三郎方で生絲貿易業に從事した豪放なる氏はこれに安んぜず十七年八月大志をいだいてアメリカに遊び米國ミシガン州立大學に入つた、その卒業論文は英文『支那論』と題する大册で、鋭利なる觀察は米國學界に稀有なる感銘を與へたものである、大學卒業と共にバチエラ、オブ・ローの學位を受け、廿六年六月、オーストラリア木曜島に航して眞珠の採取事業をはじめ、ついで豪洲の遠洋漁業に著眼し廿六年六月外務大臣から移民事業調査の嘱託を受けるに至つた、その頃はやくも太平洋問題の重大性を察知して研鑽つとめ卅四年一月『太平洋策』を發行し識者に警告したのである、同年十月『日韓報』を創刊し社長として經營に携はり、卅五年十一月『支那論叢』を著してこれを發行した、卅六年衆議院議員に當選し再選又再選實に八年の長きにわたつて國政に參與した、明治卅七八年戰役は常に朝鮮在職であつて、朝鮮協會の功により勲三等旭日章に敍せられた、大正元年十月朝鮮に渡り組合を組織し朝鮮に於て最初の殖産事業を經營し七年四月廿二日朝鮮林業株式會社を組織して專務取締役となる、大正八年、子弟の教育の必要を痛感し私財を投じて私立芝山學校を創設して自ら校長となり、現に同校は西氷門普通學校と改稱して校長となつてゐる、大正十年八月京城都市研究會を起こして常任幹事となり、市政に關與して、府の發展を策し、又、十二年八月、齋藤久太郎、有賀光豐氏等と同民會をおこし、常任幹事となり、次いで副會長となつた、常に『內鮮融和』を唱へ民間一方の論客として民衆の指導に當り京城の長老として重きをなしてゐた、本年初夏同民會の會員を率ゐて醫學校醫院の擴張、緊縮の因をなしたもので、死去の報はるや城大附屬醫院および青野町一丁目の自宅には弔問客殺到して混雜を極めてゐる

辭令（東京電話）

專賣局事務官（七） 中山米太郎
任道立醫院醫官（七） 小山又藏
同 村田源一
道技師 岩井作吉
同 大石太郎
依願免本官（各通）
朝鮮總督府道技師 守田六男
依願免本官

1—1 再び無勝負
滿俱對京鐵戰

【大連特電】京鐵對滿俱第三回戰は七日午後四時から滿俱グラウンドにて宮武、安藤兩氏審判の下に滿俱先攻で開始、一二回兩軍ゼロ、三回表に滿俱一點、四回の表京鐵一點を酬ひ以來兩軍好守して入らず九回まで得點なく補回戰に入り十一回まで一對一で進み結局日沒のため再びドロンゲームとなり六時十五分閉戰兩軍のバッテリーは（滿俱）曾山、吉富（京鐵）木下、堀田

人

仙波安藝少將（第四十旅團長）七日滿洲より歸還挨拶の爲本社來訪
◇高山朝鮮大佐（七十九聯隊長）同上
◇同野順三少佐（野砲聯隊長）同上
◇平井少佐（四十旅團高級副官）同上
◇百瀬大尉（二十師團附）同上
◇野々村政也氏（故富永平北警察部長岳父）挨拶のため七日本社來訪

茶話

▲佐藤虎次郎翁とう〳〵死んだ▲死ぬもの貧乏といふがまだ本卦返つて四五年では▲死ぬものに不惜身命のあきらめはあつても▲死なせるものに時期尚早の未練がある▲若い頃はアメリカへも木曜島へも飛んで行き▲豪洲の鯨のごとく世界に出沒したものだが▲後代議士から林業家となり民衆指導者となり▲虎次郎虎ふす鷄山に網を負ふこと多年▲鋼頭翁となりて聲を易へてしまつた▲虎翁が虎門の奇禍にいのちをトラれぬ奇禍を遂し▲終逝にめぐまれた長壽の羅織をたゝへられたのが▲內鮮の親和はいのちを賭いて行き身中の禍根にしてやられたは殘念▲彌も親族も殘念だが茶話子もまた殘念にたえぬ▲京城名物とすべき京城都市研究會こそ翁終生の大業といふのだつたが▲京城に名物の指さぬに京城が一名物を失ふたはまい▲府民といへども殘念でたまらない▲八年の代議士生活は翁をして一世の論客たらしめ▲一たび虎嘯すれば百獸も慴伏するの概はあり▲蔵三等は富にその隱職にそれらしく老つたものだ▲白き大遊は云何せゞ秋の暮。

華商取引復活
仲秋節近づく

鮮內綿糸布の商圏の動きを見ると濟南事件突發以來最近まで華商は殆ど取引中止の姿であつた。之れは排斥の惡化等に難載され、其の成行きに深甚の注意を拂つて來た結果で、華商が斯の如き消極的態度を示したのは例年になき現象である。從つて仲秋節及冬物仕入に際しても思惑買ひをしたのは內鮮商人に限られ、華商は全然手をつけなかつた。然るに仲秋節の接近と雨晴れの爲め最近地方に於ける華商筋より京城の華商問屋筋に入注が漸增したためこれに刺戟されて華商問屋筋も弗々取引を復活して來た、從つて最近現物取引は漸く活況を呈し當地三京城の三エーの如きは昨今二百二十五圓と新高値にのせ目先なほ強調氣配を呈し品がすれ一のため通勝を示して來たが華商の取引復活も一の原因であると看做されてゐる

◎株式◎

本玉　七日前場に於ける百枚以上の建玉は左の如し
[illegible]

◎市況◎

鮮魚低落

京城鮮魚市中相場は出廻り相當に昨六日より二割方の低落である仁川物スズキも三十七圓と三割方の安値水揚高四千〇八十五圓、貫數一千八百九十二貫（單位十貫匁）
タイ七〇▲アマダイ四五▲チヌ四〇▲シラス二五▲サバ九▲アジ
[illegible]

綿布堅調

米綿五十銭と逆騰高に三品も三圓方反騰し三十圓臺に復活し作物減收豫想に逆れ形勢一變の成行、市中現物は綿高と品カスレと期待ち三エー一第三圓方堅調を持し、續き買氣旺盛に相場本調の模様である。

海外砂糖市況
[illegible]

大阪市中外棉唱へ
[illegible]

安取粟取引
六日の議洲粟相場は左の通り
[illegible]

經濟

山林部の出材豫想
豫定通り進捗

本年度の山林部出材豫想は鴨綠江側六萬尺締、豆滿江側七十二萬五千尺締であるが、今日までにすでに鴨綠江側七十萬尺締に達したものは鴨綠江側三萬六千尺締で、鴨綠江側にあつては約九萬尺締の流送途中にあり豫定尺締の到着は十分可能である、また豆滿江はまた一部に相當する二萬四千尺締の未着分があるがこれも今回の增水で大部分は流下される模様である、なほ來年の出材豫定は鴨綠江側八十萬尺締、豆滿江側八萬尺締で、本年より約七萬五千尺締方を增加してゐる

閑散期で手形交換激減

京城手形交換所調査、八月中の鮮內手形交換高は十八萬六千九百八十五枚八千三百萬九千餘圓で、前月中に比し木浦、群山の金額增加を除き各交換所共何れも減少し、總計に於て一萬百八十六枚、一千二百萬二千餘圓の激減を示して全く夏枯閑散期に入つたことを示してゐる、併し前年同期に比しては却つて五千二百三十八枚、八百三十萬三千餘圓の增加を示した、八月中の內譯左の如し

京城 [illegible]
仁川 [illegible]
釜山 [illegible]
平壤 [illegible]
元山 [illegible]
大邱 [illegible]
木浦 [illegible]
群山 [illegible]
合計 [illegible]

大株短期引跡

大新 九十八圓二（十錢高）
鐘新 百三十七圓六（十錢高）
大東 六十圓二（十錢高）
東新 百八十九圓二（二十錢高）

◎期米◎

各地期米後止

▲東限下關三三七一▲桑名十一番三三九八十二番九一▲名古屋三三四一▲金澤三三四〇▲熊本三一九六▲大阪最終氣配七十三錢（一）錢高

釜山米穀市場
[illegible]

大邱米穀市場
[illegible]

群山米穀市場
[illegible]

大阪期米市況

後場暴騰 前先加納水取二川寶り林治が買川新井三木いひ五四大ドタと三錢安に始まり利喰と正米筋の賣りに崩れの九十九錢八錢八十八錢より七十錢と逐次叩かれ株式筋の買ひに止は七十五錢と支へて大引せり

大阪市中在米

大阪市中正米高は七日現在百三十一萬四千三百四十六俵と前日の在米高に比較して二千八百九十七俵の減少である

仁川各店倶合　單位百石

當限賣方 [illegible]
同 買方 [illegible]
中限賣方 [illegible]

紛爭因としての外交問題

張氏が民政黨を脱するとき、其の外交につき所見を異にするをその理由とした。今回の內紛においても「幣原外交」が幹部、不平組および顧問官の間に鬪爭しつゝある。鬪爭しつゝあるによりて、いよく床次氏の脱黨理由を、理由あるものたらしむる、いひかへれば民政黨の對支外交意見は、鬪爭をすらも惹起せしむるに足らぬものであることを、天下に明かにしたのであつて、床次氏のごとき鬪爭するはずである。…との印象を國民に與へずには措かない。そもく民政黨の對支外交意見は左翼にも取るに足らぬものであらうか。」

◇

われ等はそうは思はない。その意見はずゐぶん强いことばで主張せられ、これと合はざる政友會の政策をひどく批しつけて居るけれども、その底を流るゝ思想に至りては、ほとんど似たり寄りたりであつて、…ゆゑに民政黨內にもし內紛が起こるといふならば、左翼なる生ぬるきことではならぬ。どこまでも政友會とは別個の對支外交意見を打出し來り、旗幟を鮮明にして政友會と闘はねばならぬとする見地に立ちてからでなければならぬはずである。ところがこのたびの紛爭につき事實の經驗するところを見るに、對支外交意見によりて政府を攻擊してはならぬ、いな攻擊するも可なりといふ點に關するものゝごとくである。まことにおろかしき論爭題目ではないか。…不平を申立てるものを、否んで戰爭するものはないからである。」

◇

さりながらこの論爭題目を、外交問題を政爭の具に供するの可否といふやうにハツキリきめると斷然別個の重大問題となることもちろんである。…大隈內閣の對支交渉がやゝもすれば國難に衝突せんとしたのは、政友會が反對したからである。…

◇

…國民はあくまで團結して、國難の國論を避けるものたるに拘らず、…そこでなりて外交問題は國家の一致なる心状にあらねばならぬであらうか。それ即ふを要しないところである」

◇

對外政策の常に民論を紛爭の具に供することは……しまにして國民は外交當局を鞭打つことが出來る。…政爭を避けることありとも、それは國に已むを得ないといはなければならぬ。」

爭霸戰をかへりみて（5）

大會參加の選手の 旨味と遠慮ない欠點 ―秀れた諸氏の技術に― 强味を彌增す科學研究

立石生

投手では遊擊手もよかつた、然し一面年からみれば、いさゝか球威がなかつた……

◇

…ンドをとるに妙を極めてゐる。…

◇

…

歸り來る日 （3）

悲惨なりし 金內閣の末路

李軫鎬氏談

…

不良同業組合に解散を命ず

―全國的の整理― 組合の刷新を圖る爲め

（東京）商工省においては今回は一組合の大改革を行ふ計畫を以て各種調査を進めつゝあるが、まづその先驅として全國的に重要物産同業組合の一大刷新を促す方針で過般來全國各地の重要物産同業組合につき一々その事業成績につき嚴重なる調査を進めると共に、一方その直接監督の任にある地方長官に對しこれが刷新方の

通牒

を發した。然して今回調査した結果によると組合事業が不振を來たしてゐるものが非常に多い事が判明した即ちその不振を來しつゝある理由は

一、組合事務所の所在不明のもの
一、事務員の設置なきもの
一、組合費僅少なるもの

等であつてこれ等の組合は有名無實にして何等その存立を必要とせざるのみかこれによつておこる弊害も看過し難く組合の整理統一上直に解散せしむるが適當であると

解散

せしむべき組合は…

組合制度改革の異論

全國的に猛運動開始さるゝか

…

十六日鎮海入港の聯合艦隊

加藤寛治大將麾下の精鋭七十餘隻

加藤寛治大將麾下の第一、第二艦隊全部長門、陸奥以下の七十餘隻は來たる十六日鎮海より入港、五日鎮海灣の上二十一日佐世保に向け出港の豫定にて、在泊中は一般公衆の艦艇拜觀を許可せらるゝはず。なほ艦隊の編成は左の如し

第一艦隊 第一戰隊 長門、陸奥、扶桑、日向 第三戰隊 阿武隈、那珂、神通 第一水雷戰隊 天龍、第十三、十五、十六、二十六驅逐隊 第一潜水戰隊 迅鯨、第二十四、二十七潜水隊 第一航空戰隊 赤城、鳳翔、第六驅逐隊

第二艦隊 第四戰隊 金剛、比叡 第五戰隊 加古、古鷹、衣笠、青葉 第二水雷戰隊 名取、第廿二、廿三、廿九、三十驅逐隊 第二潜水戰隊 長鯨、第七、十七、十八潜水隊 ◆附屬艦船 能登呂、間宮、鶴見、第廿一驅逐隊

再入會罷りならぬ

反幹部派の要求拒絶

「モスクワ六日發電」反幹部派のトロツキー、デツクサブロノフ氏等はさきに開かれたインターナショナル共産黨大會に再入黨許可を申込んだが拒絶する旨の同大會決議が本日發表された

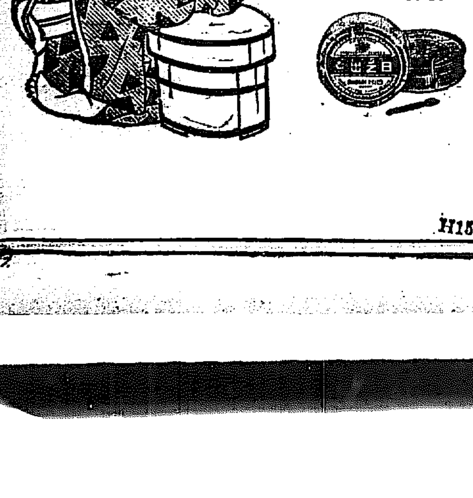
往十里賣却地視察

京城學校組合所有の往十里學校林一萬三千坪は先に賣却する事に組合議員と府とが協議中であつたが、七日午後一時から組合議員同區の實地視察をなす

カナモジカイを笑ふ【六】

大伴黒主

…



日之出煮

日之出煮 御飯 茶碗だけで立派に食事ができます。これ以上ゴタく なさるのは日之出煮發賣前の損な御習慣です

牛肉と豆 罐切のいらぬ罐詰

小 二十錢 大 四十錢

H155

●どうしても……頭痛には……ノーシン●

肺

學理と實驗!! 【特に御注意】

土佐國……【コマツ印クログスリ】……と云へばスグ判る。

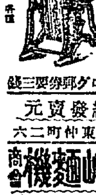
高知縣……小松黒藥本家宛にて葉書下さい。

九十ページの解説書無代で進呈します。

鮮産優良品 東洋ハッセージ 京城本町二 東洋屋

輕快・親切!! タクシーは大陸 電本三〇〇八番 太平通二

支部募集



元祖 眞崎麵機 創業以來五十餘年 專賣特許 ウドンソバ機械 總發賣元 東京淺草東仲町二六 合名會社 眞崎麵機商會

鞄と文化夜具入

旅行具は是非 高木へ

鞄各種及文化夜具入製造 京城本町一丁目三六 高木鞄店 同 一丁目一八 高木支店

驚クベキ産卵ト育雛成績 Ⓣ印 粉末完全配合飼料 東洋畜産興業株式會社

資本金參千萬圓 株式會社 朝鮮殖産銀行 頭取 有賀光豊

支店及派出所

殖産積金

京城永樂町二丁目 入院隨意 酒井婦人病院 酒井一郎

金銀地金買入 京城明治町 德力出張所

平安南道

第三回公立女子中等學校長會議

有識階級の覺醒を促し女性觀の革新を高調す

第三回朝鮮公立女子中等學校長會議は六日午前九時から平壤高等女學校において全鮮各地より公立女子中等學校長二十五名出席、本府より李學務課長、高木視學官、松浦視學、平安南道より青木知事、藤原學務課長その他多數の出席の上開會、本府諮問事項協議に入り

本府諮問案

一、高等女學校及び女子高等普通學校に於て勤勞好愛の精神涵養上最も適切なる方法如何　（本府李學務課長より左記の如く詳細なる說明あり）

勤勞好愛の精神を涵ふは健全なる人生觀を確實ならしむると共に又之を習慣せしむるに必要なる資質を充實せしむる所以にして國民の實生活に對し最も重要なる教育の目的なり且つ最近教育學術上の解說に於て眞の人格の完成は勤勞好愛の精神を涵ふとに依りて始めて之を期待し得るものなりとの說に歸一するものゝ如し故に此の精神の作興を高唱するは何ら政策上の必要に出でたる宣傳にあらずして教育本來の目的を達成せんとする純教育論に立脚するものたり又朝鮮自然の地理的事情は大都會に於て農村文化の發達を期せざるべからざるが如し而して此の文化は農業の發達の增加と共に農村に於ける精神生活の向上に歸因せざるべからず勤勞好愛の精神の涵養は實に農村の文化發達の要素の孰れに對しても最も重要なる因果關係にあるを以て此の精神の涵養を主眼とする教育の振興は農の發展と毫も矛盾するものにあらざるのみならず寧ろ農業の振興を助成すべき最も有力なる學校となるべきものなり女子勤勞は男子の勤勞と其の實相を異にすべしと雖も而かも其の形式的根本本旨に至りては毫も異なるものにあらず本府に於ては時此の點に於て特に意を用ひつゝありと雖も而かも其の實效を收めんには一段の研究と施設とを要すべしとれ今回本諮問事項を提出して諸君の答申を求むる所以なり

各學校長よりは根本的においては我國民の安逸病を打破しなかんづく有識階級人士の覺醒を促し社會における女性觀の革新をはかり女子の自重獨立心を喚起し實際的方面としては擔當の任にある教諭その者の勤勞好愛の信念の下に自ら生徒を導き實科の時間を增加し設備の充實をはかり特殊および作業に勞働をもつて臨み教育の主旨を體認せしむべきであると說明を以て意見の發表あり更に各學校における實施狀況につき詳細なる說明あり委員附託となり午後零時十分休憩、同一時十五分再會、諮問事項の答議に入り

協議事項

甲、女子高等教育機關

一、朝鮮內に女子高等教育機關を設置せられんことを重ねて要望の件（京城第四校）（大邱高女）

一、鮮內に官立女子專門學校を設置せらるゝやう其の筋に建議すること（大田高女）

一括して委員附託

乙、國庫補助

一、女子教育の內容充實を期するため理科家事裁縫の如き女子に必須なる實科的設備の充實に關し國庫補助を與へられたき旨建議する件（京城第四校）

一、女子に必須なる實科的設備の充實を期するため當分の內年々國庫より相當補助せらるゝやう其の筋へ建議するの件（群山、全州、光州各高女）

一、高等女學校へ設備補助金を交付せらるゝやう其の筋へ要望の件（元山高女）

一、公立女子中等教育機關に對し年々經常的に設備費を補助せられんことを其の筋に要望の件（大邱高女）

一、女子教育の內容充實を期するため校舍の設備又は改築移轉に對し相當の國庫補助を其の筋に建議する件（咸興高女）

一、高等女學校に於ける理化博物家事の設備を改善するために國庫より可成多額の補助金を交付せらるゝやう其の筋に建議すること（大田高女）

一、女子教育の內容充實を期するため教員給に對する國庫補助を增額せられたき旨建議するの件（京城第四校）

一、高等女學校長及教諭俸給は國庫補助及地方費補助を主額たらしむることを其の筋に建議するの件（馬山高女）

以上一括して委員附託

丙、教育制度

一、內地の府縣同樣各道に學務部長及專任視學官を置くやう其の筋へ建議すること（元山高女）

一、朝鮮內の學校職員に對しても年功加俸の制度を設けらるゝやう其の筋へ建議すること（元山高女）

一、家事裁縫科の臨時委員を設けらるゝやう其の筋へ要望しては如何（清州高女）

一、女學校に專屬衛生婦を置くといふ考に對する御批評を承りたし（試行の結果如何より其の筋への希望）（仁川高女）

丁、學科

一、現下の狀勢並に實際教授の效果等より見て英語科を必須科目及隨意科目の何れにするを可とするか（清州高女）

一、女子に實業思想を一層強調するの方案如何（平南三校）

一、宗教的情操陶冶を有效ならしむる具體的方策如何（大田高女）

以上一括して委員附託となり同四時十分散會、委員はそれぞれ委員會を開き協議した（平壤）

體育大會 競技種目

選手の申込期日は九月廿日迄

十月一日平壤公設グラウンドで擧行の第三回平安南道體育大會の競技種目その他は左の如く發表さる

一、競技種目　百米、二百米、四百米、八百米、千五百米、五千米、ローハードル、八百米リレー、千六百米リレー、走高跳、走巾跳、三段跳、砲丸投（十二ポンド）圓盤投、府郡對抗リレー（千六百米）

一、競技規則　全日本陸上競技聯盟陸上競技規則に據る

一、競技の方法　（一）府郡對抗リレーは別項の參加規定に依りて定めたるチームを以て行ふ（二）各競技（府郡對抗リレーを除く）六名迄の入選者には第四回朝鮮神宮競技大會出場資格を與ふ

一、出場種目數　一人三種目以內とす但しリレーを除く

一、參加規定　（一）參加者は總て本道內居住者に限る（二）府郡對抗リレーの參加チームは府尹、郡守の名に於て申込まれたる本大會期日以前二ケ月以上其の府郡內に居住せる者を以て成るチームに限る

一、申込規定　（一）申込期日、昭和三年九月二十日迄（二）申込場所、平安南道地方課內平安南道體育協會宛（三）申込方法、住所氏名に參加種目を明記し申込むべし

一、參加料　徵收せず

一、其の他の規定　（一）府郡對抗リレー參加者は府郡名を記せる幅四寸、長六寸の白布を胸背に縫付くべし（二）其の他の參加者は參加章の番號を記せる幅四寸長六寸の白布を胸背に縫付くべし

一、表彰方法　（一）府郡對抗リレーの優勝チームには本會制定の優勝旗を授與し又同大會に至る迄の保有せしむ（二）本大會に於て優秀なる成績を擧げたる者には役員會の規定を經て優勝盃を授與し又同大會迄保有せしむ（三）各種目一等入賞者には記念メダルを授與す

一、本道代表選手選出方法、第四回朝鮮神宮競技大會に本道を代表して出場せしむべき一般及學年別選手は本會の記錄を參考とし役員會の推薦を經て決定す

全國優良品展覽會

優良商品の普及と商取引の改善をはかるをもつて目的とする全國優良品展覽會は全鮮商工聯合會主催の下に來る十月十三日から同月廿四日まで平壤公會堂において開催されることゝなつた出品數は三萬點以上におよぶ見込みである同會役員および出品物種類は左の如くである（平壤）

役員　▲顧問、平安南道知事、平壤府尹、平壤警察署長　▲會頭　[illegible]　▲委員長　內鮮主なる製造業者百餘名　▲會長、松田戀治郎、副會長、築山信助、副會長、奥田政吉、總務　中丸外雲

出品物　一、生產加工品、工藝品、原料品、化學工業用品、工藝手工品、機造機械類、二、生活必需品、食料品、衣服雜貨類、家具類、文房具類、小間物類、趣味娛樂品、家庭藥品、材料品、果實蔬菜類、水產物類、穀物類等

合財袋

◇…鎮南浦府井上警察署長及消防組頭は六日午後七時から公會堂に町里長の會合を求め消防用自動車ポンプ購入の件を協議し該地一致寄附金を集め購入することに申合せた

◇…鎮南浦商業會議所では八日役員會を開き共同荷揚場の管理其他を協議する

◇…平壤レース倶樂部主催全鮮競馬大會は今八日から船橋里の競馬場で開催される

◇…鎮南浦商工會社と久原製錬所とのスポンヂ野球準優勝戰は都合により勝負は鎮南浦體育協會の預りとなる

◇…四日午前十時頃大同郡柴足面陽地里金志天の家屋一棟折柄の暴風雨のため倒壞金は下敷となり即死

◇…平原郡兩化面生れ住所不定前科一犯金德煥（十八）は又も平壤府內を荒し廻り押へらる

◇…鎮南浦平壤間の改築工事は六日入札三萬八千圓で杉澤組へ落札

慶尚南道

漫然渡航者に新手の不正手段

巧みに證明書を偽造して田舍者を誤魔化す

內地渡航が嚴重となり當局では三段がまへの警戒で取締りに苦心してゐるが、あこがれの內地へ渡航を希望する朝鮮人は依然として減少する模樣がないと同時に近來は田舍から日夜集まつて來る漫然渡航者の內地渡航につけ込んで旅券をそなへぬため阻止された渡航中へ與こしらへの兎警察署本は勿論、各地駐在所の渡航證明書まで一覽して區分のつかぬ巧妙に偽造してこれを阻止された渡航中に一部十圓位に賣つける新手の不正手段を講ずる犯罪が生れ取締りに當る水上署でも調べてゐるが犯人は釜山府寶水町二丁目[illegible]（三）同寶水町二丁目[illegible]の兩名にて[illegible]外六名、全南[illegible]外八名へ對し[illegible]および[illegible]の印鑑を僞造して證明書を作成し合計百八十圓を詐取したもので四日夜檢擧されたが當局でも檢擧で何れも送致されたが當局でも漫然渡航の[illegible]に困つてゐる（釜山）

密漁船發見

朝風丸の手柄

不正漁業船退治のため統營郡近海へ出動した朝風丸は釜山水上署李司法主任指揮にて嚴重搜查を續けた結果五日午後二時半頃蔚島沖合にて發動機漁船長崎縣南松浦郡神浦村頭三吉德丸が無許可にて潛水器漁業中なるを發見したので船長前田初一（四〇）及び船員を朝風丸に收容し漁船を曳航して六日朝釜山に歸港したが同船は一日より五日まで統營近海に密漁しよそ三百五十圓を漁獲してゐた（釜山）

贋造五十錢

釜山草梁町一丁目下駄製造大谷已之助は去る二十九日五十錢の僞造銀貨を發見し屆け出たのでその筋では目下嚴探中であるが今回發見された物は極めて粗惡なもので一見して僞造であることが判る程度である（釜山）

虎に喰はる……

飛んだ豫言をした卜者

◇……近頃の珍談

迷信に淡護のからまるは普通であるがこれは又、支那の小說西遊記にでもありそうな奇談の一節、[illegible]居昌郡[illegible]下高里の一部落は[illegible]の[illegible]その[illegible]を中心に村民約三百五十名が同家の周圍をとりまいて見物する騷がしさに[illegible]の生まれで今より九年前どこからともなく一人の道士風の卜者があらはれ「お前は九年目の八月三十日になると部屋の裡に隱れて居[illegible]の日が來たので[illegible]虎の印實から逃れやうと[illegible]をまつり太鼓を鳴らして[illegible]をあげその二[illegible]の猫物を飼犬に寢せて部屋へつなぎ徹夜で騷ぎたれをきゝ傳へた[illegible]がたびたび說論してもきゝ入れず[illegible]をつゞける[illegible]があけて九月一日となつたので何れも[illegible]足の脛をこすりながら[illegible]して[illegible]

教員試驗合格者

八月廿三日から六日間にわたつて施行された[illegible]の合格者は左の通り發表があつた

◇第一種合格者　田邊實、金炳天、國山美智子、稻山濱、閔泰基

◇第二種合格者　[illegible]入武男、秋宜務、劉紹烱、劉宗吉、尙燮、姜甲永、金性太、金炳周、李求鎔、鄭元相、黃鳳起、國重ヨシノ、黑宮慶枝、金廷煥、殷在煥、中園チエ子、村瀨ひさ、古賀松代、山口初開、金基烈、氏本正明、船木姓子、鄭國浩、朴宇民、金哥浩、金炳俊、金在萬、朴商國、朴殷浩、李東一

◇第三種合格者　田長富、姜敬守、鄭朋發、具貞會

物資の搬出を主とす

釜木自動車の方針

釜山の實業家を中心として計畫された釜山、郡山、木浦間の自動車聯絡會社の設立について郡山側の意向を質したのに對し郡山側の意見が主となつていそぎつゝあるが六日役員會を開催して協議を遂げたすへ資本金四十萬圓の計畫なりしものを五十萬圓とし更に乘合自動車の聯絡へ重きを置いたのであるが結局各地方から搬出される物資の出入を頭目として經營する方針を得策とすることに至り同會社の設立および經營の協議を物資輸送の運搬を計る趣旨をおく事に變更した（釜山）

漁港設備地調査

釜山港に漁港設備を實施する計畫は釜議が中心となり、運動を續けて來たつたが釜山府當局の話により七日[illegible]氏が大邱へ赴く途中來釜し仔細に釜山漁港の實地調査をする豫定で同夜は香椎會頭はじめ各役員とホテルにて會食しながら意見の交換をする處あり一泊の後八日朝、大邱へ向つた（釜山）

馬山雜俎

◇聯合艦隊　來る十六日鎮海灣に入港する聯合艦隊七十三隻の其の一部でも馬山へ入港させて貰ひたいと板垣馬山府尹から鎮海要港部へ松崎參謀長を通じて懇請中であつたが都合により馬山には入港させぬ其の筋の意があつたので、馬山府民は失望してゐる

◇馬山港埋立　馬山港埋立工事は久しく噂ばかり聞いたが相當に難涉はしたものゝ例の稻地主非上氏邸宅の立ち退きが遲くれたので、土取りに支障を來し九月末から十月の上旬までの間には是非竣工させたいと工事監督者淺松太郎氏は語つてゐる

◇銀行支店要望　馬山には殖產銀行の一支店あるのみで、一般の商工業者は是非外に一銀行支店を設置して欲しいとの希望があるが、京城に一支店を設ける希望があるらしく馬山府尹が今少し熱心になつて運動すれば早くその實現を見るであらうと京城から歸つた人の話である

◇土砂で重傷　馬山府榮町上手で用の土取中三日午後四時頃約二十坪の土砂が崩れかゝつて全北金堤生れの人夫李[illegible]根(二三)の二名が逃げ遲くれて下敷となり鳳根は聊かの打撲傷で濟んだが石鳳は下腹の大骨折で即死せねばならぬ程の重傷を負ふたので道立馬山醫院に入院加療中であるが生命には別狀あるまいと

全羅南道

武道大會

潭陽署と寶城署が優勝

全九區警察武道大會は六日午前八時から武德殿で盛大に開催された[illegible]の體育の部あり盛會、[illegible]の返杯式あり劍道百三十組、柔道六十七組の試合あり[illegible]の秘術を盡くし劍道優勝は濟州署に柔道優勝は寶城署に歸し劍道一等楠英君、二等新谷正、三等大安[illegible]三、四等木村茂、五等有田港、柔道は一等木浦八汐部雄、二等木浦金朱洙、三等長城林榮逵、四等光中小岡茂、五等光州郡村辰雄、午後六時松下警察部長より優勝者に劍道は濟州署に柔道は[illegible]に優勝旗を授與し前記の各勝者に夫れ〴〵賞狀および賞品を授與され次いで松下警察部長の講評ありて閉會警務課長より閉會を宣し午後六時半無事終了後小宴ありて解散（光州）

木浦署の犯罪檢擧數

木浦署における八月中の犯罪檢擧數は二八七件の三百十四人で內地人二三件二十四人朝鮮人は二六五件二百九十人これを檢擧後の處分別にすれば檢事局送致は內地人九件九人朝鮮人は九〇件百八人即決は內地人一件一人朝鮮人一三六件百四十一人說諭放免は朝鮮人一一五件十七人その他內地人一件二人朝鮮人六件六人處分未濟の分は內地人九件十四人朝鮮人七七件百人である（木浦）

慶尚北道

府營住宅を增築

中流以下の爲めに

三間で玄關があつて一家賃は十八圓

目下三十戶の府營住宅を經營してゐる大邱府では更に來年度は[illegible]的府營住宅を三十戶新築するはずで本府から五分三厘の低利資金の供給を受けて工事に着手するとに大體內定してゐるが場所は大邱府內の東側の一定地を限定せずバラ〳〵の既存地又は特志家の寄附による宅地を選定し一棟二戶住居として一戶の建坪は千二百八十圓で六疊一間、四疊半二間、二疊の玄關に便所、炊、押込をつけて十五坪の宅地を見込んでゐる。現在の府營住宅の申込よりもよくて家賃は十八圓とし、十五ケ年に起債を償還してもなほ一分六厘の利廻りにあたる一戶平均二十一圓の利益がある右につき三吉府社會係主任は語る。大邱には現在百戶の空家があるが家賃を中心とする住宅難とでもいふやうな事で中流以下の住宅は何れも家賃が高くて困つてゐる。そこで低利資金三萬八千四百圓で住宅の建築を計畫して[illegible]るが金利、監理費等家賃を見込んでも損はない（大邱）

道郡屬異動

慶尚北道では八月三十一日および九月五日の兩日にわたり道郡屬二十五名の大異動を行つたがその主なる者は左の如し

任道屬兼任道技手　內務部產業課勤務を命ず（八月卅一日附）　星子敏雄

新任　氏名

慶尚北道屬　庶務主任　國田俊雄

榮州郡　同上　永吉實吉

英陽郡　財務主任　石井虎雄

（以上九月五日附）

全大邱軍立直し

優秀選手を迎へて黄金時代の實現に努む

大邱實業野球團全大邱軍は[illegible]五日午後四時半から[illegible]に會合し再び全大邱の黄金時代を實現す[illegible]の陣容たて直しに[illegible]協議する處があつたが當局第一案は三三優秀選手を迎ふべく第二案は設備委員に吉田、田中、淸水、太田、田中（久）六氏が擧げられこれに一任する事に決定した（大邱）

咸鏡南道

咸興郡內の被害

六日迄に大体完了

早くも復興計畫進めらる

曾に稀有の大水災も過ぎた後は咸興のうす氣味惡い程平穩な復興計畫が進められて居るが各地の慘狀は依然として災害の深刻なるを物語るに過ぎない。六日朝までの報告をそう合すれば咸興郡は死者三十六名、行方不明六十八名、負傷者百七名の多數の犧牲者を出し、咸興郡下の州川面七千の住民は一時に一時の戀ざまをつけたに過ぎず、咸興方面から急送した食糧も僅に飢くうえをしのぐ狀況で民心は頗に興奮して惡化の形勢さへ認められる。咸興郡の被害は六日漸く大體の調査完了したがこれによれば死者二十名、家屋の流失百二十五戶、全壞四百九十八戶、半壞九百十二戶、床上浸水四千百三十二戶、床下浸水五千九十八戶で合計一萬七百六十五戶の多數に達してゐる

農事被害調査班出發

咸南道廳では六日咸興郡に農務課山田、片山、李四技手を派遣し[illegible]（咸興）

朝水の損害

五百萬圓か

朝鮮水電は新興郡松興里間鐵道の大破、西湖里及び長豐里間の橋梁全部流失、松興貯水池ダム工事設備の大部分流失、西湖里水電設備の流失に依る松興里發電所の運轉休止、數々の被害で工事も殆ど休止し西湖里及び松興里間鐵道線路の復舊工作も急いであるが回復の見込立たず損害五百萬圓とまでとなへられて居る（咸興）

郡守立往生

赴任の途中水害の爲め

新任甲山郡守佐顯直顯氏は五日咸興まで赴任したが咸興以北は交通杜絕の爲め甲山郡まで赴任の途中水害の爲め[illegible]氏は明治四十一年東大政治科を出四十三年高文にパスし本府の事務官から京畿道を經へ最近まで全北社會課主事の職にあつた人である（咸興）

大邱の商圈擴張

安東へトラック直通

大邱商業會議所では豫て大邱府の商圈擴張について研究中であつたが近く完成を見るものゝ如くこれによると大邱安東間のいはゆる邱安線道路の完成を目標としてゐるが鐵道問題はいまだに實現を許されない現狀にあるので當分の間トラックを往復して大邱の商圈を擴張せんとするものである。安東は奥地のマーケットとして米たばこ等物資の集散地としてこれを大邱と結ぶ時は大邱發展上に非常に力強いことで現在の際に安東から荷車で金泉に出で更に金泉を經て大邱又は釜山に集散される輸送系統は二回も積換の必要があつて貨銀の點から見ても時間の經濟上から見ても安東大邱間の直通トラックは遙に有望なものであると見られてゐる（大邱）

慶北雜俎

◇慶北土木事件の檢擧や、まさるに大邱檢事局の手は突然猛烈に關係に伸びたるものゝ如く先に府協議員某氏が引かれて以來當局の活動は疾風迅雷的に釜山に或は大邱某商會にと伸びいまなほ其のつくる處を知らざる有樣であるが、その間にありて土木問題は府技手の拘引に續いて府內某有力者にも召喚狀が出されたとか、出されぬとかいふ噂であるがとに角目下の大邱は前記兩問題で蜂の巣をつゝいた樣な騷ぎだ

◇達城郡論面大明洞の松林中の小松にモスの帶を吊して縊死を遂げた二十歲前後の內地人靑年があつたのを二日草刈に行つた洞民が發見したので檢死を遂げ共同墓地に假埋葬したが八月卅一日の夕刻頃縊死したものゝ如く遺書は勿論携帶品もなく住所氏名全く不明であるがただ木綿茶色風呂敷に櫻田久太郎と記してあり或はそれが本名ではあるまいかと云はれてゐる

◇總督府土地改良部では九月初から約七十五日間に亘り慶北道管內十郡七十九ケ面の耕地改良及擴張即ち土地改良の基本調査をなす事に決したが以前にも五回に亘り施行したことあり今回を以て本道管內は全部完了の筈である

黃海道

沙里院に建つ道立醫院敷地難

豫定地は運河の川敷に當る

位置價格問題で又一苦勞

十年來の懸案である道立病院の設置がいよ〳〵昭和四年度十一萬圓の豫算で明年度に實現の運びとなり病院敷地の選定について一大故障のわだかまり居る事が本月六日に至りいよ〳〵判明した、それは豫て土木局において計畫されて居る運河の實現に伴ひ、その河川敷が豫定敷地の道立醫院豫定地に引かゝり、しかもそれが一萬坪の土地の中央部を貫通する豫定となつて居る事である尤もこれは今突然的に發生したものでなく一昨年運河工事を計畫さるゝ時からそれに關係をおよぼす事の明瞭なるはよくついて居たので上郡事課長の如き強くこれを心配し若しそれが果して事實であれば一日も早く對策を講じて置く必要があるとて爾來しば〳〵阿波警察部長に協議を進めてゐたのであるが果然今回發見するに至つたのである。元來敷地の選定地は現在の時價に見積ると裕に二萬圓以上のものであらうが、これを十年前にさかのぼると三四千圓の價格にすぎないものであつたので郡當局は歷代當局の斡旋よろしきを得て現在においても矢張り其の當時の價格を以て何時でも提供する事の諒解が地主側に出來てゐたものである。所が今この場所でも他に適當地を選ばうとするといやが應でも經濟上の不利があるのであるが、さてその位置および價格から觀察して全市民が首肯するに足る恰好の場所としては實に沙里院でも容易に見出されるものでない、さすればこの懸案を如何にして解決するかこの當局住民の最も腦を惱ます所以であらう

景岩山の施設費

戊辰會では寄附拒絕

沙里院景岩山一帶を公園化せんとする施設費として金一千圓を市民から募集せんとする面の計劃に對し戊辰會では去月五日町內會議を開催慎重協議する所あつたが結局同方面からの寄附は一文も出さないといふ事に決議したその理由とする所は即く折角當局が二千六百圓もかけて開鑿した道路に西側からのみ登山口を設け東側の方面には更に上下口を設けてないからこの方面から登山せんとするにはわざ〳〵數町を廻つた西側登山口に迂回せねばならぬ不便を當局が考慮せなかつた事はたしかに東側を無視した行爲であるからこの方面に登山口を設けない限り施設費を負擔する必要を認めないといふにある（沙里院）

旱害民救濟策

土木事業を新に起す

問題の地稅[illegible]里外三ケ里にわたる五百町步の旱魃地そこに散在する四百戶の被害民救濟策については當局が果して如何なる措置に出るかは一般に注目されて居るがいよ〳〵その具體案が發表された、それは同地に土木事業を新たにおこして、全住民をこれに從事せしめ賃金を支給してその窮乏の安定をはからんとするものでその事業は右の四ケ里を縱斷する延長約一萬メートルの堤防保護工事で來月中から施行するものであるこの事業が竣功すると從來每年洪水の被害で潮水が侵入し損害を被つてゐた耕地が遽に安全となり多數の小作人は勿論將來地主の收穫に受ける利益も又少くない譯であるから[illegible]の被害を極めその他大小の地主等も本年の被害は甚やむを得なかつたものと見なし一先事件は平穩に解決するものと觀測さる（沙里院）

江原道

御大典記念に公會堂を建築す

豫算は一萬五千圓

面內有志から募集する

從來春川邑の中心たる春川に大小集會にあてる公會堂のなきことは一般のひとしく遺憾とするところであり豫てから春川繁榮會を中心としてこれが建設をなさんとして少からず盡力して來たが財界不況その他いろ〳〵の關係で一寸行惱みの狀態にあつたが近來面內の有力者間において今秋行はせらるべき御大典記念事業の一として是非共春川に公會堂建築の問題を實現しようとの說ありたまたま公私の會合があるたびにこの問題に對し協議を遂げつゝあつたが去る三日午後二時より春川公會堂樓上において、高橋面長、久武警察署長、村上、李兩道評議員、劉山面協議會員、その他十數氏會合の上左記事項に關し凝議したが不日中さらに面內の公職者その他有力者の會合を求めいよ〳〵具體的な擧後の決定を見るはずである

一、春川公會堂建設期成會を組織すること

一、公會堂建設資金を一萬五千圓としてその內一萬二千圓を建築費に充て殘餘を維持基金として積立つ

一、資金は面內在住者及一般有志の醵金に仰ぐ

（イ）面內官衙醵出金

（ロ）面內法人及事業組合醵出金

（ハ）面外各種緣故者醵出金

郡守異動

江原道では三日付を以て左の如き郡守異動があつた（春川）

通川郡守　崔鍅詠　旌善郡在勤を命す

旌善郡守　李大容　通川郡在勤を命す

平安北道

新義州の野球場

工事に着手

十月中旬迄には竣工する

御大典記念事業として平安北道體育協會で計畫中であつた公設グラウンドは設計完成しいよ〳〵七日から起工した場所は新義州驛前公立商業學校裏の鐵道用地で八十間平方六千四百坪で周圍は一米半の金網を張り繞し地下排水の設備をなし南方に特別觀覽席、側に一般觀覽席を設ける事になつてゐるが工費は六千圓で新義州驛前の新町吉野留吉氏が體育界のために利益を拔いて犧牲的に五千三百圓で引受けたものでこれが監督には鐵道土木課長自らあたり十月十日頃までに竣工の豫定であるこれで從來府に一個のグラウンドを持たず、試合每にお向ひの安東縣のグラウンドに厄介になつてゐた不便とはちとがなくなり新興の新義州の野球チームも自由に自分の土地で腕を磨練する事が出來る事になつた（新義州）

青年訓練所

十五日開所

新義州在鄉軍人分會では五日夜青年訓練所開設について評議員會を開いて協議した結果いよ〳〵來る十五日開所する事に決定した今回入所すべき青年は約卅名で本年徵兵檢査の合格者および明年の壯丁が大部分で既に訓練を受けて多數入所方勸誘に努める事となつてゐるなほ職員は[illegible]長、指導員は（步科）步兵少尉二名（教練）中學校教員四名、[illegible]その他守備隊下士二名である（新義州）

京畿道

仁川八月貿易額

前年に比し八十萬圓減

仁川港八月中の貿易額は輸移出三百十四萬九千余圓、輸移入五百十七萬六千余圓合計八百卅二萬五千余圓、前年同月に比し出に於て七十七萬八千余圓の增加を示したが入において百六十三萬七千余圓を減少し結局總額において八十萬八千余圓の減退を示した、[illegible]米の移出[illegible]二萬六千余石、卅萬二千余圓を、更に[illegible]六十七萬五千余圓、織布四十二萬四千余圓の減少をつげたるによるもので總じて米作豫想のため商品市況は閑散不振なりしによるものである。輸移出入の主なるものは左の如し（單位千圓）

輸移出

▲米及籾二、二〇一▲大豆三八二▲毛皮一三▲牛皮六五▲活牛四〇▲肥料六〇

輸移入

▲米及籾一〇〇▲小麥粉八〇▲麥酒五九▲煙草二〇二▲生酒金巾及生地レーナング五三三▲其他綿織物一八二▲印刷紙二一〇▲其の他の紙七六▲石炭七〇▲セメント二三〇▲鐵類三五一▲機械類一六七▲木材八二

しかして船舶入港數は汽船九十隻、帆船[illegible]で前年同月に比し汽船は卅一隻の增加を示しこれ等船舶に依る出入貨物は六萬五千七百卅四トンで前年同月より千四百八十余トンの減少を示した、なほ[illegible]においては輸入稅八萬五千二百余圓、移入稅四萬四千四百余圓、[illegible]一萬一千九百余圓、砂糖消費稅二萬[illegible]その他合計十九萬八千六百余圓で前年同月より一萬八千五百余圓の減少であるなほ一月以降の貿易總額は八千九百五十九萬一千七百九十七圓で前年同期に比し四百八十七萬三千二百余圓の增加である（仁川）

仁川雜俎

◇上仁川驛八月中の客車收入二萬五千八十一圓、貨物收入四千六百七十四圓合計二萬九千七百五十五圓で前年同期に比し八百五十三圓の增加を示し乘降人員は六萬四千五百四十八人[illegible]到着小荷物に於て一萬三千九百餘斤、同貨物に於て百六十七[illegible]の何れも減少を示した

◇仁川府內に於ける傳染病は流行の九月に入るも終熄する模樣なく益蔓延の兆があるので一般に警戒されてゐる、六日の現在數は▲猩紅熱內地人九▲腸チフス內地人五朝鮮人五▲パラチフス內地人二▲赤痢朝鮮人一▲疫痢內地人一▲合計二三

溝の中に慘死体

振威郡西北面[illegible]里安仲道路から約一町の溝中に年齡十六七歲位の鮮人男子の死體あるを五日午前十時頃同部落民が發見大騷ぎとなり同日[illegible]に急報[illegible]の結果他殺と判明したが[illegible]自ら部下を指揮し現場に急行[illegible]

[illegible]の移出狀況を見るに玄米は一萬四千五百八十二石、糯米は五萬九千九百七十六石で前年同月に比し玄米は二千六百余石の減、糯米は二萬五千二百余石の激增を示した、主なる移出先左の如し（單位石）

	玄米	糯米
大阪	九、一三五	四三、四一五
神戶	五二〇	三〇、九五〇
名古屋	二、二八四	一、八七三
門司	二四七	一、四二〇
東京	一、九七〇	
長崎		四九六

地方集會

◇朝鐵の自動車懇親會　[illegible]自動車部の營業全部を買收した朝鮮鐵道會社では[illegible]にて晉州及泗川の有志五十名を[illegible]に招待して披露の宴を催した（晉州）

◇佐伯郡長送別宴　今回[illegible]に榮轉の[illegible]郡長佐伯郡氏の爲め八日公會堂を會場とし官民有志は正午より[illegible]に招待し盛大な送別宴を催す筈（大田）

◇國野氏招待　平北警察部長に榮轉した國野宏氏は六日夜咸興郡警察部幹部以上を料亭に招待別晩餐會を開いた（咸興）

地方人事

▲陣內利央氏（忠北地方課長）八日釜山發赴任

▲矢野桃朗氏（忠南警察部長）十一日朝釜山發赴任の筈

▲村上巳氏（釜山府理事官）八日朝宿引

▲櫻井彌之助氏（鎮海要港部司令官）新任挨拶のため五日釜山へ

▲神谷新任全北財務部長　六日大邱發赴任

▲今村殖產局長　六日[illegible]郡守旅館で坂上面長および有力者と會見午餐を共にし午後二時頃の自動車で扶餘に向け出發

▲服部容校氏（[illegible]公普校長）六日[illegible]發赴任

▲引田正直氏（[illegible]公普校長）五日[illegible]發赴任

▲宋貞國氏（[illegible]小學校長）六日[illegible]

▲加藤平太郎氏（[illegible]）六日[illegible]

▲南塚[illegible]氏　仁川へ

▲井上新義州稅關長　新義州稅關の[illegible]のため五日出發

▲片岡[illegible]稅長　右同

▲高橋眞二氏（[illegible]警部）[illegible]

▲大日[illegible]

歯磨專門の會社で出來る

ライオン歯磨

現代的趣味の象徴として生れたる

新製品 十號罐入

十〇鑵

發賣

定價 金拾錢

茄子紺地色に薄斑を配つた美しい彩色！金の文字こ金の縁取りの清新さは、

容器の美しさ

若き方々の新しい感覺に無上の共鳴を喚び洵に生々こした現代的趣味に溢れてをります。

◎ライオン歯磨大袋入の粉も此空鑵に分けてお使ひ下されば御便利です。

ライオン歯磨獨得の長所

1 最新科學の粹を集めた大組織
2 世界無比の大量製産
3 最も優秀なる原料の採擇
4 世界に誇り得る品質の純良
5 香味の優雅・刺戟性の適度
6 「良品廉價」の一致の實現

新製品十號鑵入
（金拾錢）

本舗 株式會社 小林商店
東京・大阪・名古屋

02-3

トルストイを想ふ……A

地に蒔かれた一粒の麥

（2）　佐藤圭四郎

人類と平和と民衆主義とに對する限りない愛に地球のいたる處から民衆の路が開かれ正義と自由と平に對する叫喚が天と地に向つて動揺したのは歐洲戰爭が地球に向つて平和の克復を宣言した時であり宗教文藝が日本の讀書界を風靡したのはこうしたヨーロッパの荒廢に厭戰的および社會的感想の擡頭たる勝利の花が開かうとした時代であつた。それはまた豐にその當時まで確然たる位置の社會的プロパガンダの臨場にすぎなかつた宗教をその國家主義たる主權者の手から奪ひとつて崇高な建設者の心と魂とから出た清初の純潔に呼び戻そうとした時でもあり、世界の國々を代表した政治家がいはゆる巨大な頭腦を傾けてヴェルサイユ宮殿の會議に永久平和を議していた時民衆は戰後に過ぎ亡凡ゆる一切の權威を放棄して負傷者の叫び聲と不具にせられたもの、飢餓と死人の静かにしてうらめげな顔に直けん人類と平和と提唱した時であつた。當時改造社から出された賀川豐彦の『死線をこえて』の驚くべき出版界をはじめ倉田百三の『出家とその弟子』に續いて江原小彌太、西田幾多郎等々といつた宗教的社會改造家が相次いであらはれ國を重ねて民衆に訴えて來た、歷史かつてない迷惑と人類を掲げての發盟に呻吟してゐた民衆が如何に熱烈な要求を抱いてそれらの著作に對したか想像するに難くない。と同時にトルストイの人道主義が高唱されロシヤ文學の卷頭的首唱は挙こぞつてトルストイを日本に紹介し出した。その宗教觀は勿論のこと『我懺悔』『われ等如何に生くべきか』『人生論』は矢繼ぎ早に日本語に譯されトルストイに對する熱愛は嫌が上にも昂き唯一の心を捕へて民衆にトルストイを鑽仰しようとする欲求が日本の各地から湧興した。それは一種の宗教的狂熱に近い狂的な熱情であつた。民衆は早くもトルストイの著作に彼の偉大な理想を固執しようとあせつた。かくしてトルストイ人道主義と彼の宗教的苦悩のなかに傷心にも病をいそいだ民がトルストイの生涯にその狂的澎湃を傾注してかれがホスタポーボの一小驛で何ゆえ狂死しなければならなかつたか――その八十余年の波瀾重疊を極めた彼の生涯に最大の驚異の晩※を追つた時であり、また一方トルストイアンがその余りにも衒學者的な傲慢によつて早くもトルストイを象徴に祀りあげ彼の著作をしてその洪水の中に自らをも流失しようとする時であつた。その頃私は札幌の中學二年生としてトルストイアンの大洪水に一束のわらをつかむ様に彼の『懺悔』をブックケースに忍ませて學校にかよつてゐた。それは實にトルストイの熱愛時代であつた。そしてその『懺悔』は當時の私が愛措おくことの出來なかつた無二の愛讀書でありかつ十代の私が最初に發見した唯一の偉大なる北方の聖であつたことから見れば私もまた一限のトルストイアンを志ざしていたのである。」

俳句と氣品

（未知夫氏に再び與ふ）　（八）　安藤綠童（寄）

未知夫氏は故大須賀乙字氏の所論を引用して、俳諧の句を作れといつて居る。それには私も同感であるが、さて、俳諧の句とはどんな句であるかについては、少々異説を持つものである。」

といつても、未知夫氏は俳句を擧げて居るのでないから一寸私も困るのだが、要に角次ぎの様な句は、俳諧の句でないのだらう。未知夫氏が擧げてゐるからである。」

無住寺人住む寺も多木中　虚子
遠近の多くの影の障子哉　同
盛んなる菊の面影残り鳥　同
枯蘆の沼又ありぬ海近し　同

自然を有のまゝに詠つた所らした句が、果して俳諧の句といへないものだらうか。私は先づジエンダの言葉を持出さう。」

『藝術とは主觀がそれ自身の客觀になるか、又は客觀それ自身の主觀になる事物の表象の所産又は結果である。美は有限の中において無限を把握する事である。藝術品の主なる特長は無意識的無限である。藝術は主觀と客觀自然と理性無意識との統一である藝術は知識の最高の實在である藝術とは實體に存在するがまゝの事物をあるがまゝに認識したのをいふ藝術家とは知識や理性によつて美を作るのでなくて彼の中に存在する美的觀念によつて美を作るものである』それから私はヘーゲルの言葉も引用しよう。

『神は美といふ形式を取り自然と藝術との中に現れる。神は二つの方法によつて顯現する。客觀と主觀との中、および自然と歷史との中においてゞある。美は物質を通して現れた觀念の光輝である。心靈、ただこれに属するものだけが眞の美である。それゆゑ自然美は精神の自然美の反映に過ぎない』

これは私の所藏する近代思想叢書から、任意に抽出した文字であるが、誤りはない積りである。

これ等の文字を見るに、要するに主觀と客觀は二元的なものでなく、根本に一元的なものである。客觀は主觀に合一されてゐるものである。われ／＼が客觀寫生を大呼する虚子先生の傘下に集まつて一團に四季の風物に禮讚するのは要するにわれ／＼が胸裏に藏する美的觀念の發現である、花鳥諷詠に心を勞し、魂の躍はれるとは、換言すれば觀照の躍進である。花を讚えるのも月を賞でるのも、要味からいへば花を讃え月を賞でるのでなく、その以上の大きな生命――われ／＼の神から附興された靈感の放射なのである。

『芭蕉を俳聖と呼ぶゆゑんのものは彼の句にその境涯より出でゝ、藝術的自然の體觀に入つてゐるものが多いからである。』

乙字氏はさういつてゐるが、俳諧時代から脱却しきれない人なら兎に角、明治時代にはいつて一家の風格を成へた俳人の作品は、境涯の句といへるものが澤山あると思ふ。」

此道や行く人なしに秋の暮　芭蕉
憂き我を淋しがらせよ閑古鳥　同
こちら向け我も淋しき秋の暮　同

こんな句ばかりが境涯の句でないのだ。主觀を異常に表白した句ばかりが境涯の句だと思つてくれては困る。飛抜なる俳人が、自然と一枚の境地になつてうまれ出た句に、境涯の句のあることも知つてほしい。

序にいふが、大須賀乙字氏の沒するや直に俳論集が出版されて、私も早速一讀したが要するに俳論の概論であつて、地上に足のついてない俳論が多かつた。私は當時常盤の『かげらふ』誌上に『乙字俳論集を讀む』の一文を寄せて、境涯の句の問題も書いたはずだ。詳しくは同誌を見てほしい。

秋と虫　江口貫

太陽がむかふの原におちかかり庭園にせみが鳴き始めける
かなかなのこゑにうすれゆく姿を今日も見たくて窓あけにけり
夕光をあみてあきつがさはに飛ぶ庭のすすきは園に出でにけり
號令をわれはかけねど物干に一列横隊にならぶあきつは
夜の蛇どろ翳ひえびえとうごくなる小径に我はぬれて立ちゐる
萩の花咲きたる庭にふかふかと鶏しづもりてそのこまかさや
赤き空を今日も仰ぎてゐたるなりみなしごわれにふさはしくして
月の出を待ちゐる畑の栗の樹がゆれてかすかに音たててゐる

モスクワ印象記

親しき友に與ふるの書

（二）――マキシム・ゴーリキー

それから私は浮浪者附近の、」とある與太話に入つて見た、この話は頗る不潔で、壁の張紙には『床にタッバ吐く可からず』『惡態惡口御斷り』（露西亞いはく惡口とは日露戰爭以上ロシヤ獨特の、汝の母を姦す、汝の妹を姦す、汝は母親と通じてるだらふ、即ち報復の蔑生ケダモノ以上の下等な罵詈雜言の事をいふのである）との貼札であるにかゝはらずこゝにくる連中は『メシ』もはき『ツバ』もはき惡口も吐いてゐる。」

モジャイスキ撰らまれといふ土工某は、隣の友人にプラウダ紙の『レウキヌキー時日』の記事件に關する記事の一節を讀んで聞かせてる『一體全體そのレウキヌキつて奴は何者だい？』と友達は反問したが土工は『そりや己等にもわからねー』と答へ『此の下等な『畜生』『ケダモノめ』を盛んに連發した、そして床の上にツバをペッとはきだした。

◇御客の中から物識りが」この二人の政治家に向つて、レウキヌキが波蘭人である事や、英國の玩弄によつて『ウクライナ』の獨立を計劃してる一方の親分である事を話して聞かせた。」

『フン畜生奴、ウクライナを己等からフンダくるつて計畫なんだな イギリスか、そのつまり玩弄しやかつてアン畜生奴！』と話を聞かされた男はフンガイした、それから彼等の話は『天候不良』の事や『今秋の收穫豫想』に移つたが、今年は凶作だらうとの豫定であつた」

『だから己等もこゝを見込んでるのだ、パンを食はずに戰爭は出來ないと今わをくゝつてるのさ』と誰やらがいふた、また誰の方から『俄々々と戰爭でもない事をいふない、今年は豐作だろつて噂さをしてる奴もあるんだぜ』と大きな聲で叫んだものがある、『だつて戰爭がくさつてしまつたのは、不運なんぢや』とまた誰やらが應酬した。」

◇私には勞働者然も土工さへもが今日露戰爭少佐の顔目や、英國の陰謀に多大の注意を拂つてる事が非常にたのもしく思はれたそして彼の頭には一年前私の手もとに或村落から送つて來た通信の文字が思ひうかんだ。」

『當地方では戰爭の話で持ち切りである然し自分は戰爭は不可能と言ふるだらうとは思はない――ロシヤは世界で一番強い國であるが無益な戰爭をする樣な國ではない、しまた勞農民衆は戰がろしく戰爭を起こす如き事はしない」といふ意味が書かれてゐた、土工はやがて茶をのみおはつて外へ出て行つた私は彼の後ろ姿を見送りつゝ彼によつてサヴエート市民の變化を知り得た。運命に、私は感謝せずには居られなかつたのである。」

◇たばこの煙りで一杯になつてる喫茶店の人々の話聲も私には耕耘工場の機械の音の如く聞こへる、何んといふ平和なそして實務的な都會よ。カフエーの番臺に陣取つてる、キレイに化粧をなでつけた女も一種の如き風の販賣者たる、一勞働者は左手のシワクチヤになつてるパンフレットニワキ目もふらず讀みふけつてる。右の手でテーブルの上におかれたコップの茶を手探りに引寄せて、一寸の間も眼をパンフレットから離すのが惜しさうに、そして、時々強盛せる彼のあちの筋肉も、快心の笑から、徹動するのであつた、御茶は、無論、またそして、頗る丁寧な看護によつて、客等の前に運ばれてゐた。看護は誰に對しても平等に『アナタ』の敬語を使つていた。『醫者』、居酒屋やカフェーの客に對してなした、ボーイの態度、生意氣な、不愉快な態度は今日喫茶店の看客から全然見出す事が出來なかつたのは私にとりて、うれしい事の限りであつた。（未完）

南洋から　（7）　堅山坦

何百と數へきれぬ根を高くもち上げタコのやうに枝をさゝげてゐる、タコの木こうした樹類の木がかなり多い。南洋でなくば見られぬ奇觀だと思ふ。森林一ぱいに朝顔の蔓のやうに這い廻る木にからみ突かれてゐるのももと矛盾した情趣を感じさせられる

バヒラージヨ

醜聞にはなじみのピアニスト山本護と婚約なつた女優佐藤九二男氏は結婚はお正月のことにしてか戀作をしたいとねらつてゐるがさつぱりモデルになつてくれる人がない▲そこでやつと戀作にとりかかつた多田鐵三氏が『婚約のせいではないか』と聞けば『では君は何うだ』と反問する▲『僕等は君……』よ。貰ふか貰はぬかの瀬は大切にされるものさ』で『なるほどねえ……世間はそれほど親切かねえ』だと

京日柳壇　（六月集九）　井上劍花坊選

理髪師に任かして總べて極樂なり　江泉正朗
親と子が違つた心同じ家　同
逃げる蚊を同じ道ひ乍ら振いてゐる　同
國の風俗衣にはちと惡くなり　同
素人ぢやないねと女房ソッと告げ　同
上役に親切回章に判を押し　園北佐久次
腕時計見い／＼這入る遲刻人　同
御起の手附に終こ記念品　同
箱入は書いた夢で尼になり　大田榮三郎
手踊の樣なベンチの夕涼み　同
蚊帳をつり安全地帶と夢の國　同
夕涼み草履の換り履く立ち　同

募るもの

短歌　尾上柴舟先生選
川柳　井上劍花坊先生選
俳句　臼田亞浪先生選

各、題は定めず、一人五句又は五首以内、用紙は半紙を用ふること、尚封皮には種別を明記すること

締切　九月卅日

會報

春風會（京城 翠選報）

韶光庵擬雪選

水音も澄き鈴亭の今年竹　滉耳
おもひ出の數々かふ蓮哉　遊鯉
日を閉ぢて面影忍ぶ蓮哉　匯湖
若竹の影や茶室に宵の月　幸子
若竹や一雨去つて宵の月　草夢
墓參りひとり淋しき小道哉　幸子
泉水の石の古びや今年竹　草夢

三光

若竹を洗て涼し雨の庭　楓亭
若竹や笛になる竹神の竹　遊鯉
定紋の水桶古き墓參哉　立山

追加

若竹やすつくとしたる男振　擬雪

瑞興句會（汀舟報）

花賣の美人に見とるゝ夜店哉　翠水
モータサインの音の涼しや日照草　碧心
瓦斯くさき夜店の女若そうな　寄仙
照り續く挾りの庭や日照草　德女
裏庭の草のいきれや日照草　曉華
陰日の出ぬ後掃く夜更哉　閑月女
風飛ぶ夜店の後の讓れ紙　非可
めだる兒に夜店で求やり兎　瑞峰
日照草町の丹留の器き哉　遊月
乘たる洗濯物や日照草　沐生
眼ひの悶押しぬ夜店の灯　白光
松葉牡丹朝の宿が下りて來る　魏尚
蚊櫃の夜の風含む夜店かな　汀舟

瑞興明楠會（白光報）

夏の夜の蟲がよいと飛ぶ　汀舟
夏の夜の雨ゆかしき湖月夜　翠心
闇に蜘蛛寄り合ふ風軒哉　寄仙
病葉に揃ふ蜘蛛の子追ひ出ぬ　曉華
蜘蛛這ふ蜘蛛の宿る土蔵き　兆可郎
もく／＼と米し蜘蛛の打たれ兎　瑞峰
夏菊の花壇に暮るゝ蝶二ツ　遊月
夕月に蜘蛛の子渡る枝と枝　德女
蝉叩く跡の柱や夏の菊　魏尚
蜘蛛のかたまり落ちし背簡哉　沐生
鬼蜘蛛やありあけ月のほの寒　白光

平風吟社（淳昌 翹山報）

川端の月見草に思ひけり　鐵花
夕風の澁道あゆめり月見草　破翠
向ひ河岸月見草浮いて暮るゝ　梅月
月見草小川に寫る星一ツ　國介
昏る道の月見草ほし汽車の旅　石村
渡しないそぎ行き愛月見草　日下人
夕映えの畦を歩めり月見草　一蒸
川水府かる月見草咲きに鬼　玉葉郎
月見草に月なく宵を樂き鳥　翹山

赤函 レート白粉

清楚な
初秋の氣分に調和して
くづれず
みだれず
若く明るい
美しさを保たせる

その上に、お化粧臺を飾る美しい包裝の
赤函三種――煉白粉、固煉白粉、粉白粉

若く明い顔になる
純無鉛・專賣特許

赤函レート固煉白粉　六十錢　四十錢
レート煉白粉　卅錢　廿五錢
レート粉白粉　廿五錢　卅五錢
レート水白粉　卅五錢

レート五色粉白粉　五十錢
レート五色水白粉　六十錢
レート頬白粉　一圓五十錢　一圓
レート紙白粉　廿五錢

東京 大阪　平尾贊平商店

體溫計の無料檢査賑ふ

三越樓上における體溫計檢査の第二日は相變らずの盛況三百九十八人、で四百七十二本の受驗內六十三本が不良といふ成績で府の局長や課長夫人の顏も多數見へ、特に城大醫科附屬齒科醫學校の生徒諸君も次ぎから次ぎへと押かけた事も珍しかつたのは、朝鮮人のめくらの按摩さんまで持つて來たことであつた。なほ八日は午後二時まで受付けることになつてゐる（寫眞は第二日の賑はひ）

全鮮女子庭球選手權大會目前に迫る

ダブルス・シングルスの兩試合 來る十月一日擧行

朝鮮でたゞ一つの輝く一般女子に解放された女子スポーツ界の殿堂であるわが社主催第四回全鮮庭球選手權大會はいよ〱來たる

十月一日 京城運動場コートで開催する事になつた從來運動を出た人々のスポーツ界は頗るせまかつたので廣く女子に門戶を開かうと企てゝ生れたこの大會は廣く開かれた美しいスポーツのドアだけに、過去三度の催しにしかすぎないにかゝわらず年々躍進的飛躍の跡をみせてゐることは全く必然の歸結である。そうしてその

第四回が この一日に開かれるのである。仁川、京城、釜山、平壤から參加する學生以外の選手は從年多いが、本年はなほ各方面からも出場の模様あり、ではまた全鮮の女學校、女子高等普通學校庭球部の選手はもれなく參加するはずであるから、その日の華々しき大會は期して待たれてゐる

申込其他 は例年の通りであるから進んで廣く申込まれたく、殊に、朝鮮でたゞこの大會のみで行つてゐるシングルにもあることだからダブルスと並んでその成績はまたれてならない昨年の選手權ホルダーはダブルスは二年連續の偉業ならず惜しくも優勝旗に涙山、原田が涙をのんで優勝旗を[illegible]に渡し、シングルスは、[illegible]優勝が抱いてゐる。そして果して今年は誰に？女子選手の誰が腕に優勝旗は來る一日、唯ふまゝに獲得されることであらう

朝博と同時に住宅展覽會

東部發展會の主動で新堂里に開く計畫

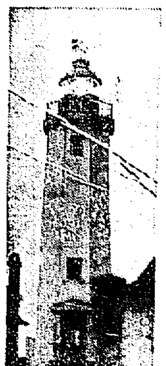
島[illegible]氏は八日夜入城するが、同氏が[illegible]から買收せる五十萬坪の新堂里土地は如何になるか

注目 しをり從つて同氏は土地も[illegible]をさそつて居るが、新堂里の發展に莫大の關係をもつ東部發展會は島氏代理人と目下[illegible]協議の結果、朝鮮博覽會を機として

同地 に大々的な住宅展覽會を開催し、土地の處分と發展を一期に狙ひやうとしてゐる

この計畫は現在島氏が買收せる十六萬坪の土地その他を整理して區劃割をなした上一般から募集した住宅の設計を懸賞をつけて募集し專門家の審査により[illegible]建築を[illegible]し、[illegible]賞金を與へ、此の新堂里[illegible]

海を見守る者へ



角田不案

孤島の燈臺に淋しく海を見守つてゐる人々をたづねた秘書角田不案氏から燈臺の歌詞を寄せられた。茲に掲げて島の人達に捧げる（板垣生）

燈臺を守るつとめ勞し燈臺の人等と語り腕のせまりく

燈臺の人等と語すくが淋しくさか

れる島の波音のなか

くが遠くさかれる小さき島にして人間のせちにさびしく

しみ〲と燈臺守は語りけりあざらしなどを島に狩るはなし

荒潮の霧とこもりて燈臺に海守る人の上に幸あれ

寂しき島の鳥など餌に飼ふ燈臺守の人等なりけり

燈臺に雜誌の雜け少しありて南瓜の花の無駄花咲けり

燈臺のはなれ小島に何處ゆかきて生れにけむ蛇とんぼとふ

夕されば我立ちて居る燈臺も他の燈臺も灯はめぐりけり

燈臺の岩はなに立ちおち方の燈臺の火を見てゐたりけり

空晴りうつれる海のはて遠くともる燈臺の火のなつかしく

燈臺の石垣のもとの茄子畑茶に飲し島の遊べり

大潮の寄れに餌を投げ入れて燈臺の人とゝもに釣りけり

またたける星數知れず波騷ぐ夜の寂くろき島にてありけり

夜の音きゝつ日ねもす夜もすがら

ら四五日を海にやどるなりけり

燈臺の夜は[illegible]の鑑太夫に燈臺の夜はたけてゆくなり

燈臺の人の喚ふに世を遠くさかれる國にある心地かな

寄潮の足もとによる岩をゆき日は暮りながら身は冷えにけり

うつそみの身をいとほしみ寄潮にけぬるうたがた見つゝゐにけり

霧を[illegible]ゆくに岩のかどかど足に踏くさみしきむうまれそめけり

聖からの音の[illegible]くにむせる岩に

寄せてはかへす波にてありけり

うち寄する潮にひたりつ岩がねにいのちはぐくむ貝にぞありける

岩に生いのちはぐくむ貝のみとけじめはあらじと默しゐにけり

みな〲と額みてありぬ六つ岩のゆらぐがごとくなりてきにけり

霧くれば心は靜び寂されば心おどる島に見おるに

岩の岩に波のしぶきのとよくが足れた居るに船酔く心地す

いつしかにつゝましき心となり

につゝ海のひゞきに聞き入りにけり

天地のひらけしときゆかはらざる大海原のひびきなるべし

海原のわれ等が船先の間き踊れしあはれ吹き海の響きか

大海原のひびきのなかに國を遙てし船先の海のひそむとや聞く

大潮の流れ渦まく海をゆくにはさびしきものにてありけり

日ねもすを海の上ゆく船に來てきまぐれトンボわれと遊べり

潮をゆく船に遊べる紅まくれ蜻蛉とんぼよりあはれなりけり

家族つれで三越へ、コドモ展へ

第一日から大繁昌の本社主催の展覽會

九月の[illegible]見物、子供等には興味に[illegible]一般人にとつてもよき催しとして[illegible]空前の大盛況を收めつゝある三越三階での本社主催コドモ必需品優良品展覽會にはいよ〱けふで四日目を迎へる事になる。府內での唱歌たるこの展覽會は日を追ふて入場者が激增し三越は入場の整理に忙殺されてゐる三越でも過去において幾多の展覽會を開いたがこれ程の觀覽者を集めた事はまだかつてない、しかもあらゆる階級を通じ一家打連ての入場は今日まで殆どみざるものでこの催し

希望 するものがあれば、一種のせり賣の形式で賣拂するもので、一號をあげると、八千圓の建築の家を九千圓と、一萬圓の買手があれば一萬圓のにもるといふ式をとるはずで、これにより

東部 の發展を期するはずで、すでに同地の町名も[illegible]と名づけた。島氏來城の上、理事會を[illegible]をなした上、設計[illegible]の具體化を行ふはず

[illegible]建てた各種各樣の住宅を展覽せしむる展覽會で各住宅には坪數、建築費を一目瞭然たらしめ、これを

水禍の局子街へ流れ來る死人の棺

間島各地は極端に食糧缺乏

龍井村にて 秋田特派員發

【間島特電】連日來四日にわたる間島各地の豪雨はさきの水害にも增して各河川の氾濫となり中にも局子街南方の上流は七尺以上の增水と報ぜられたので最後に龍井との交通が杜絕隔離に陷して孤立された

電柱悉が濁流に押し倒され 未だに電信電話も不通である。しかして約九日間同地に籠城のやむなきに至つた記者は六日朝危險を冒して同地を脫出その日の夕頃龍井に歸着したが今や局子街は常に乏しく食糧物資の缺乏を訴へ總ての食料品は五割方の騰貴となり中にも味噌の如きは全然日本品の影をとゞめず僅かな土地製品の高騰を出して居る有樣となり三百にあまる囚人を收容してゐる局子街領事館監獄などは

唯一の糧道たる局子街橋を 流されたため六日より糧穀の缺乏は殆ど湯にかはつたほどで、その悲慘の程度は想ひ半ばに過ぐるものがある。しかし一般は何といつても間島における支那側の政治都市だけにまだ監獄ほどに物資缺乏してをらず不安を訴えつゝあるなかにも水害が防がれてゐる一方朝鮮人側と支那市街は一方面から市街の突角につきつける延吉川の氾濫がいづこの窪地よりか絕えず死人の棺を流入地域に流り來たつて慘澹をきはめ

溫突は何れも內部から湧出 する水の爲に大破損を來たし全部修理するの外なく飲み水は極端に濁り飲用に適せぬ狀態であるがこの間よく救助消防隊が連日にわたつて勇ましき活動を續けてゐる。なほこの大水害の頃[illegible]

かくれたる天文學者として 知られたるナダロフ氏は風雨にさらされて間は渡る個所々に友人と談笑中心臟麻痺をおこし五十六歲を一期に死去した。六日同地の天主教會にて莊嚴なる告別式あり龍井に遺骸を運んだ後執行と決し龍井の白系露人九名は六日午後同地へ出迎への爲出發した。天文觀測の復舊は今後少なくとも約半ケ月を要する見込である

爆藥で親子心中

妻の病氣を苦にして

【靜岡電報】靜岡縣駿東郡小泉村野花原吉田角太郎(三七)は六日夜長男武(八)をつれて小泉村墓地に至りダイナマイトに點火して無慘な親子心中を遂げた原因は要の重病に苦しみ快復の望みなきに自分も強度の神經衰弱となり生活難その他に悲觀したゝめである

高橋氏の講演會

今夜本社來聲閣で

既報の如く、信仰奉仕の人として一燈園の西田天香師と並び稱さるゝ高橋正雄氏の講演會は今八日午後八時より京城振興會講演會の主催一般に如何に慕ばれてゐるか一度してうなづかれる、殊にけふと明日は土曜、日曜とて更に非常な人出をみるであらう、來たみぬ方はこの機を逸せずに聽講ありたい

強盜殺人に死刑の宣告

きのふ京城覆審法院で

江原道[illegible]郡[illegible]面[illegible]里[illegible]（三一）にかゝる強盜殺人被告事件は大正[illegible]年八月十八日[illegible]渡川郡南面にやませ手の賈物を殺しその金品を奪ひ[illegible]の目的を以つて誘ひだし同日午後八時に渡川郡南面[illegible]路傍にさしかゝつた際所持金を[illegible]にあつた長さ三尺の斧をもつて毆打即死せしめ牛賣の金百二十五圓を強奪したものである

新日本の體操、

鍾路小學校で講習

にて本社來京鍾閣において開かるゝ事となつたが氏は鍾路地方をはじめ內地においては非常な共鳴者を得て、その獨特な文化の獨織より溢れ出づる講演には常に非常な感激を以て迎へられてゐるが朝鮮においては、五、六年前に一度公開の講演を試みたことあり、今回が第二回目である[illegible]

六日、七日、八日の三日にわたつて府內各小學校、普通學校體操科教員に對し鍾路小學校を會場として京畿道師範學校教諭村岡哲夫氏は、從來のスエーデン式體操に代らざる、即ち新しく生れた日本的體操の講習會を行つてゐるが講演に實演に頗る有益なる講習會とて講師も講習生も熱心に行つてゐるが新日本の純粹な體操の普及と期待は廣くかけられてゐる（寫眞は其講習ぶり）

龍倶優勝す

慶熙遂に敗る

4—2

本社後援第五回慶熙對オール龍山定期野球は一勝一敗の後をうけてその決勝戰を七日午後四時半から京城球場で開催し縣營一球一喜一憂の後龍倶が優勝した

[illegible]

北鮮水害義捐金募集

咸鏡南北道地方の水害慘狀は今更喋々を要しません。慘害は痛切にして、救護は急を要します。本社が率先して、義捐金募集を開始したのも全く之れがためです。

義捐金額の多寡は論ずるところでありません。いくらでも罹災同胞慰問の赤心の結晶として、確實且つ至急御取つぎいたします。金額に拘泥さるゝことなく、至急本社事業部『義捐金募集係』宛御申込を願ひます。

本社が義捐金募集の社告を出すや、早速多數篤志家の應募のあつたことは本社の深く喜ぶところであります。事務の都合上毎日正午を期して當日の義捐者芳名を新聞紙上に發表することゝしてゐます。

京城日報社

一回（龍倶）[illegible]

二回 兩軍三者凡退

三回（慶熙）松村中堅前安打に出たが、菅野のバントに封殺井上右翼飛球後、菅野二盜を過まる▲（龍中）一死竹村右翼安打に出て島崎四球につゞき岡本遊撃飛球の後、永田また右前安打して滿壘となる。かくて二—二ののち小西三遊間に安打して竹村、島崎並んで還り永田、小西二、三塁、大根の三飛や遊撃ゴロ惡投となつて永田小西またかへる、即ち四點をリードして中村の遊撃ゴロに代る（慶ゼロ、龍四）

四回（慶熙）鈴木遊撃ゴロ失に生きて土谷の二壘ゴロに二進したが、投手牽制球にさゝる岩城中球を得て二盜したが鈴原右翼飛球に入らず▲（龍中）三者凡退（兩軍ゼロ）

五回（慶熙）[illegible]トレートに四球を得た[illegible]振に入らず▲（龍中）[illegible]一後遊擊越安打に出て岡本の二ゴロに併殺さる。永田[illegible]兩軍ゼロ

六回（慶熙）[illegible]惡投に生きたが鈴木、土谷凡退後二盜を誤まる▲（龍中）三者凡退（兩軍ゼロ）

七回（慶熙）二死後四球を得たが後援なし▲（龍中）一死後長瀨四球に出て竹村三前安打につゞいたが島崎ピーゴロ岡本三壘飛球に入らず（兩軍ゼロ）

八回（慶熙）松村遊撃失安打に出て、P、H坂本高橋凡打後二盜、鈴木の遊撃ゴロ高投に生還鈴木長駆二壘を奪ふ、土谷また中堅前安打に鈴木をかへして兩軍の興援スタンドに亂舞する岩城左翼深い飛球を好手よく待つて止む▲（龍中）三者凡退熱狂裡にラストインニングに入る（慶二、龍ゼロ）

九回（慶熙）一死後岡本遊間安打に出たが、後援なく四對二で慶熙敗る時間一時間十五分

中　島岡永小大中淵投竹　鈴木田四根村上淵村

龍倶　木谷城原　原村野上橋

慶熙　鈴土岩淺園田松菅井高

審判　左二遊中投右三捕一投

戰蹟　右同まで僅か一本の二壘打長崎、併殺高橋、岩城、岡本

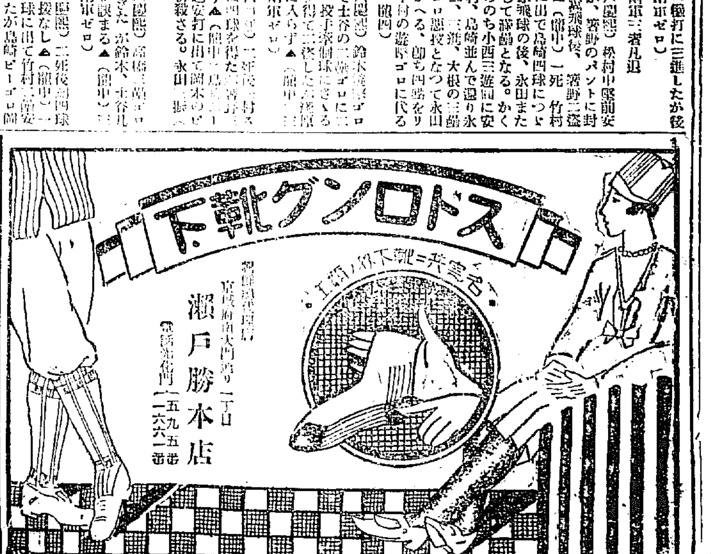
[illegible]

な打しかなかつた慶熙に反して勝頭から常に迫まる龍中は何とか打ちだらうと思はれてゐた▲果然四回にはよくチャンスを掴んで二死後滿壘としてヒッテイングに一擧四點を奪つた▲此日闘志をして昨日の雪辱させたいといふベンチの願ひあつたのか知れぬが▲これはむしろ第一試合と同じく大事をとつた方が無難であつたので▲四回うちで代った高橋はかたり好投したが二點を許したに前中時ったのが惜しまれた▲本日の[illegible]は龍中が三勝となつた▲永中のこのゲームの最近來最も好投したのはこのゲームだった▲かくて本社寄贈の優勝盃は遂に龍倶のものとなり龍倶は堅く握つた京中校長より小西[illegible]主將の手に授けられた

木部孃墜落

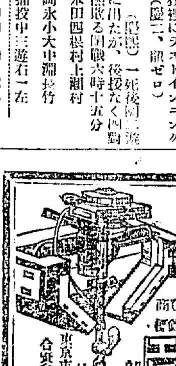
輕傷を負ふ

【福岡電報】郷土訪問飛行中の女流飛行家木部しげの女史は田川郡を訪問飛行すべく六日午後四時十分出發同郡赤池の砂地に不時着陸せんとし高さ五米のところより墜落、機體は大破したが女史は輕傷を負ふた（寫眞は木部孃）



雜誌 定價の七割引 目錄無代進呈 東京市京橋區 近江屋書店

發明品特約店急募 一般家庭必需品各商店必要品 許品四種 月收五百圓確實 村田製作所



年數御相談 恩給金融 誠實第一 親切第一貫 仁川府宮町九拾 森田耕

皮膚科 淋疾 黴毒 生殖器障害 塩井医院 京城明治町二丁目（浪花館東） 電本三〇九〇

急告 [illegible]

書畫 新古名畫買入 京城府 [illegible]

京日案內

社員 [illegible]

技工 [illegible]

古本 高價買受 [illegible]

店員 入用 [illegible]

恩給 [illegible]

技師 [illegible]

旅館 [illegible]

恩給 [illegible]

熊本 [illegible]

恩給 [illegible]

獵犬 分讓 [illegible]

小説 明石將軍 (140)

白石實三 作
多田設三 畫

……父の切腹

明石の母堂は、稀れに見る烈婦だつた。明石の父その人も、維新の志士で、國事のため、壯烈な最期をとげた人であつた。

「父は明石助九郎といつた。もと播州明石の城主から出て、維新の際に應した家柄であつたが、助九郎の時代になると、折から維新の混亂時代に際して、藩の意見も二派に分れた。一は勤王、一は佐幕。そして助九郎は、かたい信念の下に勤王派に組した。」

助九郎が、長の高杉、隣の西郷とひそかに文通をはじめたのは、かなり早いことであつた。幕府の嚴追の手がのびると、高杉も西郷も隠れて、闇間へ忍んで來たことがある。その時、助九郎は、

「よろしうござる、それがし大役によつてお身たちをかくまひ申さう」

それから、彼は藩の同志を説いて金を集め、家をさがして、高杉、西郷をかくまつたのであつた。藩の反對派は、助九郎の所置を、いきどほつた。血眼になつて西郷、高杉等の在家をさがした。そこへ藩公の命に眼がくれて訴へして出たのが、明石家の小者三造といふものであつた。

「それ」といふので捕手が向つたが、一足ちがひで、高杉、西郷等は首尾よく逃れた。

時に、助九郎は、藩の所務をおびて、他へ出向いてをつたが、注進の者はいち早くも飛んで、急を助九郎に報じた。

『さやうでおつたか』助九郎は自若として答へた『高杉、西郷両志士が首尾よく逃れたとは、何よりぢや。大儀のためには、この身はかねて亡いものと覺悟して居つたのぢや。藩の同志に累をおよぼさぬため、また、一には廟目の恥を受けぬため、我一身が責を負はう。駕籠に乘しよう』

その夜、助九郎は人を遠ざけ、膝の一室に坐して、心静かに切腹して果てたのであつた。

その時、明石はわづかに二歳、無心で母の懐の乳房をまさぐつてゐたが、ともあれ、彼は、かゝる志士の子として生れたのであつた。大儀に殉じる彼の犠牲的精神、燃えるやうな愛國の熱誠、侠氣、果断、明敏、すべて父から受けついだ氣性なのであつた。

その上に母が傑物だつた。

『サムライといふものは、臆してはならない。名利を超えて、心に生きなくてはならない、そこに眞のサムライの魂がある――』

『恥を知れよ、親の前には命も軽いもの、金は賤しいもの、武士は喰はねど高楊子です――』

さういふ母の教へは、むつ襁褓の時から明石の胸にたゝき込まれたのであつた。質素な剛健な日本的の魂――明石が『鐵カラ明石』で通つてるスパルタ教育、殊に母は恐ろしき倹約家、質素を教へ込んだ。[illegible]

で質素な生活をした人で、家庭のつゝましやかなこと、今も知人間の評判になつてゐるほどである。

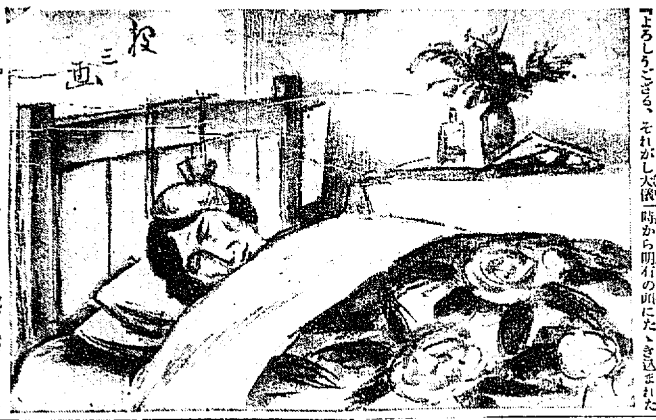
『僕は地味なことが好きだ。一體派手なのは、厭だね、派手なことだね、だから僕の下の力持ち樣、人の知らないところで盡力して人知れない手腕を立てるのも面白いな』彼は晩年さう傍へ述懐したといふ。

服装ばかりでなく食物もおごらなかつた。また少時母堂に向つて

『腹がたべたいな』といふと母堂はいはれた。

『ではお前が、降級が一つゞいたら、腹を出してあげよう、中將になつたら二つ、大將になつたら三つといふふうにね』

さういふ教育をさづけた母堂だつた。また、さういふ母堂の下にある明石大人が、どんなにつゝましやかな武家氣質の人であつたかも、ほゞ想像ができる。が、惜いことに夫人は病身だつた。今、現に明石がシリヤスのたづれるまゝに自分の生ひ立ちを物語つてゐることに、病はつのつて、赤十字病院に入院してゐる身であつた。世に悲惨な明石の家庭悲劇がはじまつてゐた。が誰も明石は夢にも知らない……。



新らしい出版物

▼朝鮮貿易月表（六月分）朝鮮總督府財務局▼鹿島（九月）京城府神田區正神保町八鹿島社[illegible]五十錢
▼月刊撫順（創刊）滿洲撫順を中心にあらゆる方面を網羅した雑誌 城島總督府[illegible]二月刊撫順發行所[illegible]

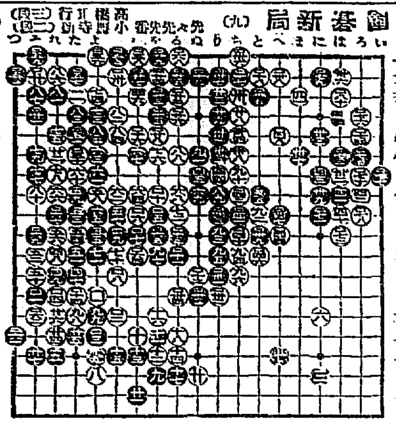
けふの新刊（四日）

（專賣局圖書課調べ）
邦文の部▲朝鮮司法協會雜誌（第七卷第八號）朝鮮司法協會▲近海々洋圖 朝鮮總督府水產試驗場▲淨光（第二卷第九號）[illegible]
[illegible]

讀者らん

▲[illegible]
[illegible]

碁 新局



演藝案内

東亞倶樂部
標八色懺悔 十卷
[illegible]

大正館
[illegible]

喜樂館
青春散歩 八卷
槍はさびても 六卷
[illegible]

京龍館
字保惜春賦 六卷
都の西北 全卷
月形半平太 十卷
[illegible]

大正館
大江戸の最後 八卷
夫婦 九卷
[illegible]

中央館
[illegible]

青春倶樂部 全八卷
[illegible]

岡本一平氏漫畫廣告試案（3）

發賣元 近藤利兵衛商店

ライオン印作業服
[illegible]
ユニオン商會

京城帝國大學御用
藥局に等しき責任を持つ弊店を御信頼御用命の程偏に願上ます
赤十字病院 鐵道病院 江頭眼科 金井眼科 御指定
大學堂眼鏡店
本店 大阪市南區心齋橋南詰西電南六〇五六

各博覽會金牌受領

醫學博士九名實驗證明推奨
專賣特許 登録商標
眞空水治療法器
男生殖器の強健化
[illegible]
◇發育
◇御注意
◇リン病
◇無代進呈 圖入説明書
東京 新療法研究所

小粒仁丹
時候の變り目 胃腸は弱る 今、片時も手離せぬ
高貴藥サフランを倍加特製す
消化素 口香料 仁丹 ポケット必携
大粒は益々に改正し護身藥として益々愛用せらる

金言 休息を願はゞ先づ働らけ（偽諺）平和は交戰の父なり（ポルノー）交誼は血縁よりも強し（サイラス）
姉妹品 仁丹のハミガキ 仁丹型體温計

ノーシン！ノーシン！頭痛に「ノーシン」

府立 仁川病院
新任 内科 小兒科 外科 産婦人科 内科物療科
院長 醫學博士 岩井勝三郎
副院長 醫學士 西野入眞澄
醫學士 青木俊一

各種天幕 雨覆 日除
旭テント商行
電話本局三八九番 振替京城九四五番

寫眞は ―ワタナベ― 本町一・電本三九二

クスリハ山岸
卸 ト 小賣
電話本局 三二七 一〇一 二四 番
振替京城 二〇三 番
京城府本町一丁目
合資會社 山岸天佑堂
毎月營業月報發行

仁川出帆

[illegible]
高杉回漕部

仁川出帆

協同海運會社

大阪商船株式會社

[illegible]

森信汽船出帆

森信汽船株式會社

嶋谷汽船出帆

大連天津直行
[illegible]

朝鮮郵船株式會社

○釜山出帆（代理店山田回漕店）
[illegible]
京城代理店 内國通運

朝鮮郵船 定期航路
○金剛山探勝 航路開始 咸北丸

仁川汽船株式會社

各沿岸出帆

[illegible]